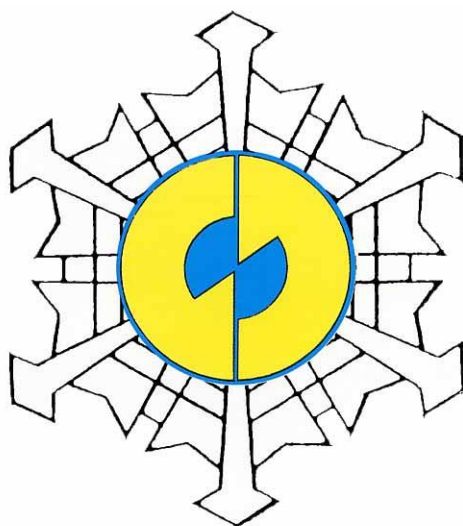


消 防 年 報

令和 7 年版



仲多度南部消防組合消防本部

令和 8 年刊行

は し が き

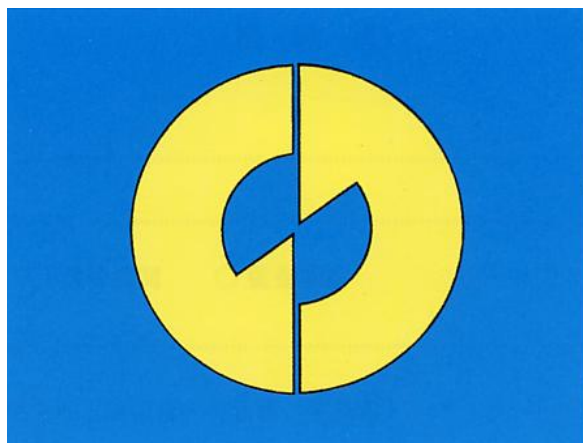
1. この年報は、令和7年中における仲多度南部消防組合の業務に関する諸般の事項についてその実態を集録し、広く紹介するとともに将来の防災活動の資料とするため作成しました。
2. この統計中、予算関係事項については会計年度とし、火災統計・救急救助統計、その他の事項については特に年月日を記載していないものはすべて暦年としました。

令和8年8月

仲多度南部消防組合
消 防 本 部

組 合 章

(平成8年6月制定)



意 義

仲多度南部消防組合の「仲多度」と「南部」の頭文字「ナ」の二文字を江戸時代の町火消しより纏と共に広く大衆に親しまれている「鳶口」でデザイン化することにより、消防の組織を強調すると共に、丸く太い二本の鳶口でもって構成二町相互間の厚い信頼と団結を意味し、一致協力して水火災等の災害から住民の生命、身体及び財産の保護を任務とする当消防組合設立の目的を組合章として表現するものである。

目 次

は し が き 組 合 章

〈 組 織 編 〉

■ 構成町の町章等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
■ 執行機関及び議決機関・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4
○ 執行機関 ○ 議決機関 ○ 監査委員	
■ 管内位置・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5
■ 構成町勢2町(琴平町・まんのう町)・・・・・・・・・・・・	5
■ 消防庁舎概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6
○ 建築概要 ○ 設備概要	
■ 組織図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7
■ 消防本部の事務分掌・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	8
■ 消防署の事務分掌・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	10
■ 消防の沿革・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	11

〈 総 務 編 〉

■ 消防組合令和7年度決算状況・・・・・・・・・・・・・・・・	21
■ 職員配置状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	22
■ 職員の勤続年数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	22
■ 職員教育課程修了状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	23
■ 各種資格・免許等取得状況・・・・・・・・・・・・・・・・	23

〈 予 防 編 〉

■ 防火対象物・・・・・・・・・・・・・・・・	2 7
○ 項別（用途区分別）とは	
○ 特定用途防火対象物とは	
■ 予防査察・・・・・・・・・・・・・・・・	2 8
■ 防火対象物定期点検報告制度・・・・・・・・	2 8
■ 防火管理・・・・・・・・・・・・・・・・	2 9
○ 防火管理の状況	
○ 特定用途防火対象物の訓練状況	
■ 消防同意・・・・・・・・・・・・・・・・	3 0
○ 建築確認申請指導状況	
■ 消防用設備等の設置・・・・・・・・	3 1
○ 主な消防用設備等の設置状況	
■ 消防用設備等の点検制度・・・・・・・・	3 1
○ 点検報告済防火対象物件数	
■ 危険物の規制・・・・・・・・	3 2
○ 貯蔵取扱・類別件数	
○ 倍数別件数	
■ 届出等に基づく審査・検査等事務・・・・・・・・	3 3
○ 届出等の受理状況	

〈 警 防 編 〉

■ 消防車両の現況・・・・・・・・	3 7
■ 消防装備一覧（抜粋）・・・・・・・・	3 8
■ 過去10年間事故別件数・出場延べ人員・・・・・・・・	3 9
■ 消防水利状況・・・・・・・・	4 0

〈 災 害 統 計 編 〉

■ 火災の概況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4 3
○ 出火件数 ○ 死傷者 ○ 損害額	
■ 町別・月別火災件数・・・・・・・・・・・・・・・・	4 4
■ 種類別・月別火災件数・・・・・・・・・・・・・・・・	4 4
■ 町別の火災概況・・・・・・・・・・・・・・・・	4 5
■ 町別・種類別火災件数・・・・・・・・・・・・・・・・	4 6
■ 町別・月別火災損害額・・・・・・・・・・・・・・・・	4 6
■ 曜日別・月別火災件数・・・・・・・・・・・・・・・・	4 7
■ 火災の比較概要・・・・・・・・・・・・・・・・	4 8
■ 過去10年間火災の推移・・・・・・・・・・・・・・・・	4 9
■ 過去10年間出火原因の推移・・・・・・・・・・・・・・・・	5 0
■ 救急統計・・・・・・・・・・・・・・・・	5 1
○救急出場件数及び搬送人員 ○ 事故種別件数及び搬送人員	
■ 町別救急件数・・・・・・・・・・・・・・・・	5 2
■ 事故種別救急件数・・・・・・・・・・・・・・・・	5 3
■ 不搬送件数状況・・・・・・・・・・・・・・・・	5 4
■ 現場到着及び収容所要時間状況・・・・・・・・	5 5
■ 過去10年間の町別救急推移・・・・・・・・	5 6
■ 過去10年間の事故種別救急推移・・・・・・・・	5 7
■ 応急処置件数・・・・・・・・・・・・・・・・	5 8
■ 応急手当等の普及啓発活動・・・・・・・・	5 9
○ 応急手当実施要綱に基づく講習等の状況	
○ 応急手当普及啓発活動実施状況（過去5年間）	
■ 救助統計・・・・・・・・・・・・・・・・	6 0
○ 救助出場件数及び救助人員 ○ 事故種別件数 ○ 町別救助件数	
■ 事故種別救助件数・・・・・・・・	6 1
■ 過去10年間の救助件数推移・・・・・・・・	6 2

〈 通 信 指 令 課 編 〉

■ 消防通信系統図	6 5
■ 無線施設状況	6 6
○ デジタル無線関係	
○ 署活無線関係	
■ 月別指令別件数	6 9
■ 1 1 9 回線受付状況	7 0
■ 1 1 9 回線以外での救急入電状況	7 0
■ 月別気象状況	7 1
■ 気象注意報・警報・情報等状況	7 2

〈 消 防 団 等 資 料 〉

■ 消防団組織図	7 5
■ 消防団員及び報酬等の状況	7 6
■ 在職年数別消防団員数	7 6
■ 消防団現有消防車両等	7 7
■ 消防団出場状況	7 7

組織編



仲多度南部消防本部 庁舎

■ 構成町の町章等

構成町章	制 定 年 月 日	町の木	町の花
	町 章 の 由 来		
琴平町	昭和47年12月1日制定	オガタマノキ	サクラ 美女桜
	「コ」「ト」「ヒ」の三文字を合体させて近代的なデザインとし、全体として「ことひら」を表現している。太い字はたくましさや豊かさを、中央の円は融和と団結を象徴し、落ちつきと調和の中に限りなく雄飛する姿としたものである。 また、「ヒ」と「日」に共通点を求め、日本の歴史の中で繁栄した伝統と、全国津々浦々に知られた琴平町の未来を町章として表現するものである。		
まんのう町	平成18年3月20日制定	かりん	梅
	まんのう町の「マ」を図形化したものである。円形は柔らかいイメージを与え「円満」を表し、種から芽が伸びる様子も表現して新しいまちの始まりを表したものである。		

■ 執行機関及び議決機関

○ 執 行 機 関

(令和8年4月1日現在)

管 理 者	まんのう町長	栗 田 隆 義
副 管 理 者	琴 平 町 長	片 岡 英 樹
会 計 管 理 者	まんのう町会計管理者	森 薫

○ 議 決 機 関

(令和8年4月1日現在)

議 長	琴 平 町 議 会 議 長	渡 辺 信 枝
副 議 長	まんのう町議会議員	大 西 樹
議 員	琴 平 町 議 会 議 員	堀 家 正 信
議 員	まんのう町議会議員	常 包 恵

○ 監 査 委 員

(令和8年4月1日現在)

識見を有する者	琴平町監査委員(識見者)	氏 家 廣 幸
組 合 議 員 選 出	まんのう町議会議員	常 包 恵

■ 管内位置

仲多度南部消防組合は、四国香川県の西方南寄りに位置し、人口約2.5万人。管内面積202.92平方キロメートル。東西約12キロメートル、南北約23.5キロメートル。管内のほぼ中央を一級河川の土器川が瀬戸内海に注ぎ、南部山岳地帯は、杉、桧等の針葉樹林帯とクスギ、ナラ等の広葉樹林帯が入り交じり、中央丘陵地帯は、お茶畑、水田、ゴルフ場等が広がり、北方平野部は米、麦、ニンニク等の農業が盛んである。また、全国的に有名な海の神様「こんぴらさま」や「国営讃岐まんのう公園」、「県立満濃池森林公園」、「大滝大川県立自然公園」等があり、観光地や自然環境の整った管内である。

本部

位 置	北 緯	34度 11分 10秒	東 経	133度 50分 02秒	面積	202.92km ²
区 域	東 西	12.00km	南 北	23.50km		

■ 構成町勢 2町(琴平町・まんのう町)

(令和8年4月1日現在)

	面 積	人 口	世帯数
全 体	202.92 km ²	24,249 人	10,975 世帯
琴 平 町	8.47 km ²	7,524 人	3,532 世帯
まんのう町	194.45 km ²	16,725 人	7,443 世帯

■ 消防庁舎概要

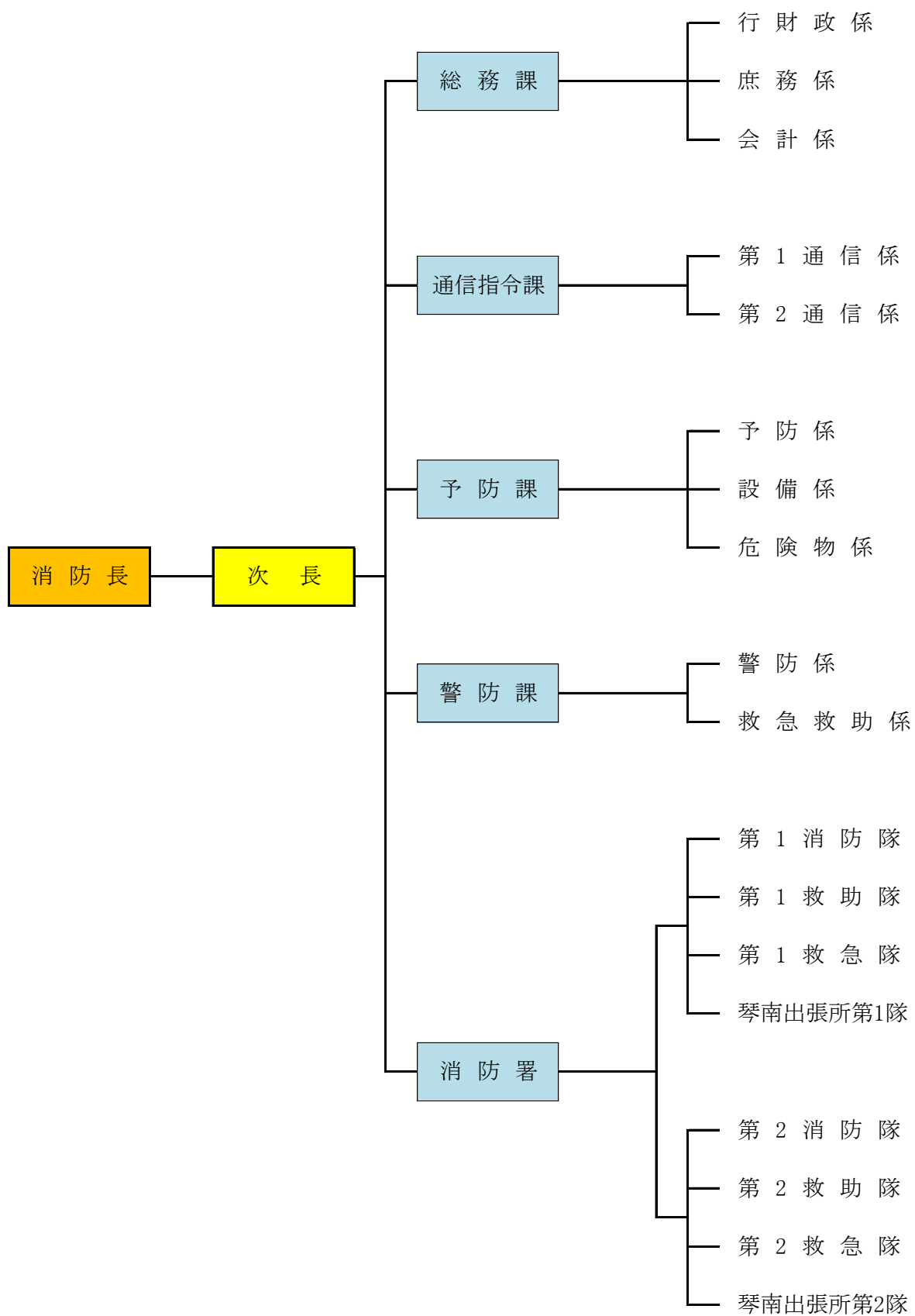
○ 建築概要

消 防 本 部 ・ 署				琴 南 出 張 所
所 在 地	香川県仲多度郡琴平町五条313番地			まんのう町造田3008番3
敷 地 面 積	3,307.39㎡			1,332.00㎡
棟 別	庁舎棟	訓練棟	倉庫棟	庁舎棟
構 造 ・ 階 層	鉄骨造3階建	鉄骨造5階建	鉄骨造2階建	鉄骨造2階建
建 築 面 積	820.25㎡		240.00㎡	234.85㎡
延 べ 面 積	2,445.36㎡		372.00㎡	395.70㎡
竣 工 年 月 日	平成11年3月20日	平成11年3月20日	平成元年12月10日	平成12年3月30日

○ 設備概要

自家発電設備	PG87MX 82 KVA	T-9-GP 12 KA
消 防 設 備 等	消火器 自動火災報知設備 誘導灯設備 防火戸自動閉鎖設備	消火器
空 調 設 備	パッケージエアコン (空冷ヒートポンプ式)	パッケージエアコン (空冷ヒートポンプ式)
換 気 設 備	全熱交換器換気扇	換気扇
給 水 設 備	上水・井水設備	上水・井水設備
通 信 設 備 等	無線塔 消防無線通信装置 県防災行政無線 三頭トンネルモニター盤 消防緊急通信指令システム	無線塔 消防無線通信装置
そ の 他 設 備	高層建物消火救助訓練設備 ホース洗浄乾燥装置 放水訓練設備 (放水用水、地下貯水槽循環式) 放送設備	

■ 組 織 図 （令和8年4月1日現在）



■ 消防本部の事務分掌

総務課	行 財 政 係	(1) 組合事務局及び組合議会事務局に関すること (2) 組織、企画及び予算に関すること (3) 条例、規則、規程等の制定改廃に関すること (4) 職員の定数、配置及び人事に関すること (5) 職員の給与、勤務時間その他勤務条件に関すること (6) 職員の教養研修に関すること (7) 財産の取得及び処分の手続き並びに財産の管理に関すること (8) 物品の購入及び修繕に関すること (9) 関係諸機関との連絡調整に関すること
	会 計 係	(1) 組合の出納事務に関すること (2) 職員の給与の支給に関すること (3) 職員の福利厚生及び公務災害に関すること (4) 監査に関すること
	庶 務 係	(1) 公印の保管に関すること (2) 文書の收受及び発送に関すること (3) 儀式及び表彰に関すること (4) 消防年報に関すること (5) 職員の被服等貸与品の支給に関すること (6) 庁舎の環境衛生及び安全管理に関すること (7) 消防団に関すること (8) その他、他の課の主管に属しないこと
予防課	予 防 係	(1) 火災予防の指導に関すること (2) 広報公聴に関すること (3) 自主防火組織の育成指導に関すること (4) 防火管理者の育成指導に関すること (5) 火災の原因及び損害の調査その他災害の調査に関すること (6) その他、課の他係の主管に属しないこと
	危 険 物 係	(1) 危険物製造所等の許可及び完成検査に関すること (2) 危険物製造所等の指導取締に関すること (3) 液化石油ガスの指導取締に関すること (4) その他、危険物関係の指導に関すること
	指 導 係	(1) 建築確認許可等の同意事務に関すること (2) 消防用設備等の指導に関すること (3) 火気使用設備等の指導に関すること (4) 予防査察及び違反処理の指導に関すること (5) 防火対象物定期点検報告制度に基づく調査及び指導に関すること

警 防 課	警 防 係	(1) 警防計画に関すること (2) 水火災、地震等の警戒防ぎょに関すること (3) 消防技術及び救助技術の研究及び指導に関すること (4) 消防地理水利に関すること (5) 消防訓練及び救助訓練に関すること (6) 消防機械器具の整備保全及び研究改善に関すること (7) その他、課の他係の主管に属しないこと
	救 急 救 助 係	(1) 救急救助計画の作成及び指導に関すること (2) 救急救助の統計及び情報に関すること (3) 救急救助技術の指導及び研究に関すること (4) 救急救助資器材の研究及び開発に関すること (5) 救急医療機関との連絡調整に関すること (6) その他、救急救助に関すること
通 信 指 令 課		(1) 通信指令課の庶務に関すること (2) 緊急通報の受付及び出場指令業務に関すること (3) 災害情報の収集及び消防活動の情報支援業務に関すること (4) 通信施設の整備保全業務に関すること (5) その他、通信業務に関すること
	有 線 係	(1) 緊急通報電話に関すること (2) 一般加入電話に関すること (3) 非常通報設備に関すること (4) その他、有線通信に関すること
	無 線 係	(1) 消防無線に関すること (2) 防災行政無線に関すること (3) その他、無線通信に関すること
	情 報 係	(1) 救急医療情報に関すること (2) 気象情報に関すること (3) 緊急情報システムの調査研究に関すること (4) その他、情報通信に関すること

■ 消防署の事務分掌

消防隊	(1) 水火災、地震等の災害の防ぎよに関する事 (2) 人命救助に関する事 (3) 消防、救助訓練に関する事 (4) 消防水利の保全及び点検に関する事（施設の設置、維持管理は除く） (5) 庶務、予防、警防及び機械の各係に関する事 (6) 受付に関する事 (7) その他、消防業務に関する事
救急隊	(1) 救急業務に関する事 (2) 救急機械器具並びに救急車両の保全及び点検整備に関する事 (3) 受付に関する事 (4) 隊内の庶務に関する事 (5) その他、救急業務に関する事
琴南出張所	(1) 水火災、地震等の災害の防ぎよに関する事 (2) 人命救助に関する事 (3) 救急業務に関する事 (4) 救急機械器具並びに救急車両の保全及び点検整備に関する事 (5) 消防、救助訓練に関する事 (6) 消防水利の保全及び点検に関する事（施設の設置、維持管理は除く） (7) 庶務、予防、警防及び機械の各係に関する事 (8) 受付に関する事 (9) その他、管内の消防、救急業務に関する事
庶務係	(1) 署の財務に関する事 (2) 署員の服務及び教養研修に関する事 (3) 署員の勤務の割振り及び勤務条件に関する事 (4) 署員の諸手当に関する事 (5) 署員の被服等貸与品の支給に関する事 (6) 署員の福利厚生及び安全管理に関する事 (7) その他、署の他係に属しない事
予防係	(1) 予防査察に関する事 (2) 条例関係の予防事務（催物、少量危険物、指定可燃物等）に関する事 (3) 火災の原因及び損害の調査に関する事 (4) 防火指導及び相談に関する事 (5) その他、火災予防事務に関する事
警防係	(1) 消防水利の記録整理に関する事 (2) 消防訓練に関する事 (3) 条例関係の警防事務（道路占有）に関する事 (4) 防ぎよ計画に関する事 (5) 警防調査に関する事 (6) 消防活動記録に関する事 (7) 消防団員等の訓練指導に関する事 (8) 消防機械器具並びに消防車両の点検及び整備に関する事 (9) 消防機械器具及び消防車両等消防装備の改善研究に関する事 (10) 消防機械器具及び消防車両等の操作技術の研究指導に関する事 (11) 消防車両の運転及び整備技術の指導に関する事 (12) その他、警防事務に関する事

■ 消防の沿革

昭和45年	3月	19日	一部事務組合設立の許可を知事より受ける。 関係4町より職員を派遣し、旧琴平町消防本部において、仲多度南部消防組合として発足する。 初代消防長に小島久義が就任する。 派遣職員14名、新規採用21名と旧琴平町消防本部消防ポンプ自動車2台他、機材等借用し業務を開始する。 政令指定を受ける。 新規職員、県消防学校初任科を卒業し消防隊、救急隊を編成する。 指令車（三菱）を購入し、消防本部に配置する。 救急車（トヨペットB型）を日本消防協会より寄贈され署に配置、救急業務を開始する。 消防ポンプ自動車（A-2級 トヨタ）2台、小型動力ポンプ（B-3級ラビット）2台、各々購入し署に配置する。 無線機（基地局 1・移動局 5・移動局{携帯用} 5）を購入し、各車両に積載する。
	4月	1日	
	4月	17日	
	9月		
	10月		
	12月		
昭和46年	3月		琴平町より消防ポンプ自動車（A-1級 トヨタ）を購入し、署に配置する。 救急業務の政令指定を受ける。 広報車（トヨペット）を香川県より購入し、消防本部に配置する。 運搬車（日産）を購入し、署に配置する。 消防本部庁舎が完成し、移転する。 消防訓練場が完成する。
	6月		
	8月		
	9月		
	12月		
昭和47年	1月		琴南分遣所が完成し、消防ポンプ自動車1台、小型ポンプ（B-3）1台を配置し、業務を開始する。 消防吏員5名、事務職員1名採用し41名となる。
	4月		
昭和48年	3月		派遣職員期間満了し、2名元職に復帰、12名組合職員となる。 消防吏員8名、事務職員1名採用し48名となる。 水槽付消防ポンプ自動車（A-2級 いすゞ）を購入し、署に配置する。 救急車（2-B型日産）を購入し、署に配置する。なお、購入資金の一部は香川県農業共同組合共済連合会より寄付される。 職員3名退職し45名となる。
	4月		
	9月		
	10月		
	12月		
昭和49年	4月		消防吏員6名採用し51名となる。 中讃地区広域市町村圏内2市7町相互応援協定を締結する。
	6月		
昭和50年	3月		職員1名退職し50名となる。 職員1名退職し49名となる。 職員1名退職し48名となる。 指令車（トヨタ）を購入し、消防本部に配置する。
	4月		
	7月		
	10月		
昭和51年	4月		消防吏員3名採用し51名となる。 職員1名退職し50名となる。
	7月		
昭和52年	4月		本部の総務、予防、警防各係を課に昇格する。 救急車（2-B型日産）を日本消防協会より寄贈され署に配置する。 職員1名退職し49名となる。 二代目消防長に消防次長柴坂満雄が就任する。
	9月		
	10月		

昭和53年	3月 11月	中讃広域圏内無線基地局及び移動局新設し、中讃広域圏内各消防署相互応援体制の強化を図る。 第4回中讃広域圏内5消防本部合同演習を琴平町旧金毘羅大芝居（重文）において実施する。
昭和54年	3月 10月	救助訓練塔（鉄パイプ製枠組立）を訓練場に建設する。 消防ポンプ自動車（CD－I型A-2級いすゞ）及び小型動力ポンプ（C-1級ラビット）、無線機（10W及び1Wゼネラル）を各々購入し、署に配置する。
昭和55年	2月 4月 8月 11月	職員1名退職し48名となる。 消防吏員2名採用し50名となる。 指令車（日産ブルーバード）を購入し、消防本部に配置する。 第21回全国消防長会警防委員会を仲多度南部消防組合が担当し、琴平町内において開催する。
昭和56年	4月 8月 9月 12月	消防吏員1名採用し51名となる。 職員1名退職し50名となる。 (財)日本消防協会より広報車（日産ブルーバード）が、寄贈され消防本部予防課に配置する。 救急指令装置C型（NECFD301）並びに構内電話交換設備取付工事完了、通信体制の強化を図る。
昭和57年	9月	消防ポンプ自動車（CD－I型）を購入し、署に配置する。
昭和58年	3月 4月 5月 9月 11月	職員1名退職し49名となる。 職員1名退職し48名となる。 三代目消防長（消防長事務取扱）に当組合管理者枝園貞夫が就任する。 救急車（2-B型日産）を山之内製薬より寄贈され署に配置する。 消防ポンプ自動車（BD－I型A-1級 日産）を日本損害保険協会より寄贈され署に配置する。 第9回中讃広域圏内5消防本部合同演習を満濃町立南小学校において実施する。
昭和59年	9月 11月	琴南分遣所庁舎増築工事が竣工する。 救急車（1-B型 トヨタ）を香川県農業共済連合会より寄贈され署に配置する。
昭和60年	4月 12月	四代目消防長（消防長事務取扱）に当組合管理者田岡敏正が就任する。 四国瓦斯株式会社琴平支店丸亀営業所と、ガス漏れ及び爆発事故防止対策に関する協定を締結する。
昭和61年	1月 2月 4月 6月 12月	職員1名退職し47名となる。 水槽付消防ポンプ自動車（IA型 A-2級 日野）を購入し、署に配置する。 消防吏員2名採用し49名となる。 職員1名退職し48名となる。 香川県消防相互応援協定を県下全市町及び一部事務組合において締結する。

昭和62年	4月 6月 8月 9月 10月	五代目消防長（消防長事務取扱）に当組合管理者大森敏之が就任する。 日本消防協会より広報車「防火号」（日産キャラバン）を当婦人消防連合会に寄贈される。 職員1名退職し47名となる。 小型ポンプ積載車を日本消防協会より寄贈され署に配置する。 県境隣接消防広域相互応援協定を締結する。
昭和63年	1月 4月 5月 11月	職員1名退職し46名となる。 消防吏員5名採用し51名となる。 職員1名退職し50名となる。 第13回中讃広域圏内5消防本部合同演習を琴平町営東駐車場において実施する。（集団救急事故を想定した演習）
平成元年	3月 4月 12月	六代目消防長に消防次長五所尾義一が就任する。 消防吏員2名採用し52名となる。 庁舎西側倉庫が完成する。 梯子付消防自動車（30m級 日産UD）を購入し、署に配置する。
平成 2年	6月 8月	訓練場を建設省及び満濃町へ売却する。 仲南町で林野火災が発生し自衛隊に応援要請。16ヘクタールを焼失し3日後に鎮火する。
平成 3年	2月 8月	香川県農業共済連合会より救急車（2B型4WDハイエース）を寄贈され署に配置する。 日本消防協会より指令広報車（三菱ランサー）を寄贈され消防本部に配置する。
平成 4年	3月 8月	職員1名退職し51名となる。 琴南分遣所庁舎改修工事が竣工する。 職員1名退職し50名となる。
平成 5年	4月 11月 12月	消防吏員2名採用し52名となる。 消防ポンプ自動車（CD-Ⅰ型A-2 三菱）を購入し、署に配置する。 第18回中讃広域圏内5消防本部合同演習を琴平町において実施する。
平成 6年	2月 3月 4月 5月 9月	香川県防災行政無線に関する協定を締結する。 香川県防災ヘリコプター派遣職員に関する協定を締結する。 香川県防災航空隊が発足し、香川県防災ヘリコプター応援協定を締結する。 救急救命士試験に合格し救急救命士運用開始。 指令車（日産セドリック）を購入し、消防本部に配置する。
平成 7年	1月 2月 3月 4月 5月 8月	阪神大震災の発生により神戸市へ応援出動する。 通信室を2階へ移転し、通信体制を強化する。 高規格救急車（トヨタハイメディック）を購入し、署に配置する。 消防吏員1名退職し51名となる。 七代目消防長に琴平町役場から宮武昭一が就任し、52名となる。 消防吏員1名採用し53名となる。 救急救命士試験に合格し2名体制となる。 消防ポンプ自動車（CD-Ⅰ型 A-1 いすゞ）を日本損害保険協会より寄贈され、署に配置する。

平成 8年	3月	救助工作車Ⅲ型及び高度救助資機材を購入し、署に配置する。 (画像探索機Ⅰ型、Ⅲ型・地中音響探知機・熱画像直視装置・夜間用暗視装置・潜水用具5基等)
	4月	消防吏員2名採用し55名となる。 香川県消防防災航空隊へ職員1名を派遣する。(2年間)
	5月	救急救命士試験に合格し3名体制となる。 第53回全国消防長会警防委員会を仲多度南部消防組合が担当し、琴平町内において開催する。
平成 9年	1月	中国四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練に指揮隊員が参加する。 (岡山県岡山市)
	3月	現場指揮車(三菱パジェロ)を購入し、消防本部に配置する。 三頭トンネル開通に伴い、一般国道438号三頭トンネル消防用無線通信設備管理協定を締結する 三頭トンネル防災訓練を実施する。
	4月	消防吏員1名採用し56名となる。
	11月	救急救命士試験に合格し4名体制となる。
平成10年	4月	消防吏員2名採用し58名となる。 三頭トンネル防災訓練を実施する。 職員1名退職し57名となる。
	5月	救急救命士試験に合格し5名体制となる。
	8月	軽可搬式消防ポンプ(C-1級)付軽積載車を日本消防協会より寄贈され本部に配置する。
	10月	携帯電話等の119番通報受信システムの運用を開始する。 第23回中讃広域圏内5消防本部合同演習を琴平町内において実施する。 (高層建築物ホテル火災を想定)
	11月	中国四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練に消火隊が参加する。 (香川県高松市)
平成11年	3月	消防本部庁舎が完成し移転する。 消防緊急通信指令施設Ⅰ型を導入し、通信指令業務の強化を図る。
	4月	消防吏員2名採用し59名となる。
	5月	救急救命士試験に合格し6名体制となる。
	7月	三頭トンネル防災訓練を実施する。
	10月	仲多度南部地区仲南町婦人消防隊が、第14回全国婦人消防ポンプ操法大会に出場し準優勝する。
	11月	第60回全国消防長会警防委員会を仲多度南部消防組合が担当し、琴平町内において開催する。 救急救命士試験に合格し8名体制となる。
平成12年	3月	高規格救急車(トヨタハイメディック)を日本損害保険協会より寄贈され署に配置する。 職員1名退職し58名となる。
	4月	琴南町勝浦吹佐古に無線前進基地局を開設する。 八代目消防長に消防次長片山隆二が就任する。 消防吏員2名採用し60名となる。 琴南分遣所を琴南町造田へ移転新築し、琴南出張所を開設する。吏員9名を配置、ポンプ車1台、高規格救急車1台を配置する。 救急救命士試験に合格し9名体制となる。
	8月	三頭トンネル防災訓練を実施する。
	11月	ホース積載車(三菱ミニキャブ)を購入し、琴南出張所に配置する。 救急救命士試験に合格し10名体制となる。

平成13年	3月 4月 5月 8月 9月 10月 12月	潜水用具（6基）を購入し、署に配置する。 香川県消防防災航空隊へ職員1名派遣する。（3年間） インパルス消火システム（1基）を購入し、署に配置する。 三頭トンネル防災訓練を実施する。 当組合ホームページ開設（ http://www.nakatado-fd.jp/ ） 中国四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練に後方支援隊員が参加する。 （高知県南国市） 職員1名退職し59名となる。
平成14年	3月 4月 5月 10月 11月	組合設立30周年記念式典を開催する。 消防緊急通信指令施設（Ⅰ型）発信地表示システムを整備し、通信指令業務の強化を図る。 仲南町立仲南西小学校に無線前進基地局を開設する。 救急救命士試験に合格し11名体制となる。 中国四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練に後方支援隊員が参加する。 （山口県阿知須） 救急救命士試験に合格し12名体制となる。 あんしん登録制度を発足する。 三頭トンネル防災訓練を実施する。
平成15年	1月 3月 4月 6月 10月 11月	水槽付消防ポンプ自動車（水-Ⅱ型 A-2級 日野レンジャー）を更新し、署に配置する。 人員搬送車（日産シビリアン）を購入し、消防本部に配置する。 消防吏員3名採用し62名となる。 高圧送水ポンプWick-250を購入し、署に配置する。 中国四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練に救急隊員が参加する。 （広島県呉市） 救急救命士試験に合格し13名体制となる。 三頭トンネル防災訓練を実施する。
平成16年	3月 7月 10月 11月 12月	高規格救急車（トヨタハイメディック）を購入し、署に配置する。 職員1名退職し61名となる。 救急救命士退職し12名体制となる。 中国四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練に消火隊員が参加する。 （徳島県板野郡） 広報車（日産ウイングロード）を購入し、消防本部に配置する。 IP電話による119番受付運用を開始する。
平成17年	3月 4月 5月 6月 10月 12月	林野火災工作車（日野デュトロ）を購入し、署に配置する。 消防吏員1名採用し62名となる。 救急救命士試験に合格し13名体制となる。 職員1名退職し61名となる。 緊急消防援助隊全国合同訓練に後方支援隊員が参加する。 （静岡県静岡市） 中国四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練に消防隊が参加する。 （香川県高松市） 携帯電話119番直接受付を運用開始する。
平成18年	3月 4月	職員1名退職し60名となる。 管内4町の内、満濃町、仲南町、及び琴南町が合併し、「まんのう町」となり、琴平町、まんのう町の2町構成となる。 消防吏員3名採用し63名となる。 救急救命士試験に合格し14名体制となる。 香川県消防防災航空隊へ職員1名を派遣する。（3年間）

平成19年	3月 4月 11月	職員3名退職し60名となる。 救命士試験に合格し15名体制となる。 消防吏員4名採用し64名となる。 中国四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練に後方支援隊員が参加する。（鳥取県米子市）
平成20年	3月 4月 10月 12月	職員1名退職し63名となる。 自治体消防制度60周年記念式典（日本武道館） 救急救命士試験に合格し16名体制となる。 消防吏員4名採用し67名となる。 中国四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練に救助隊が参加する。（愛媛県松山市） 救急振興財団より、救急普及啓発広報車が寄贈される。
平成21年	1月 3月 4月 10月 11月	職員1名退職し66名となる。 職員11名退職（うち救急救命士2名）し55名となる。 消防吏員4名、再任用職員2名採用し61名となる。 救急救命士試験に合格し15名体制となる。 中国四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練に後方支援隊員が参加する。（島根県出雲市） 高規格救急車（トヨタハイメディック）を購入し、署に配置する。
平成22年	3月 4月 6月 10月	職員7名（うち救急救命士1名、再任用職員2名）が退職し54名となる。 九代目消防長に消防次長佐野英信が就任する。 消防吏員4名、再任用職員1名採用し59名となる。 救急救命士試験に合格し15名体制となる。 第4回緊急援助隊全国合同訓練に後方支援部隊員が参加する。（愛知県知多市） 職員1名退職し（救急救命士1名）、58名となる。 中国四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練に後方支援隊員が参加する。（高知県高知市）
平成23年	3月 4月 10月 12月	東日本大震災が発生し、香川県緊急消防援助隊後方支援隊員として隊員2名を宮城県気仙沼市へ派遣する。 職員3名退職（うち救急救命士1名、再任用職員1名）し、55名となる。 消防吏員3名採用し58名となる。 救急救命士試験に合格し14名体制となる。 指令システム[情報系]設備の更新をする。 中国四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練に救助隊が参加する。（広島県福山市） 水槽付きポンプ車（CD1 A-2級 日野デュトロ）を購入し、署に配置する。
平成24年	3月 4月 11月 12月	職員5名退職（うち救急救命士1名）し、53名となる。 十代目消防長に消防署長森本守が就任する。 消防吏員2名、再任用職員2名採用し57名となる。 救急救命士試験に合格し14名体制となる。 IP・携帯電話統合型位置情報システムを整備し、通信指令業務の強化を図る。 香川県消防防災航空隊へ職員1名派遣する。（3年間） 中国四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練に後方支援隊が参加する。（山口県山口市） 職員2名退職（うち再任用職員1名）し、55名となる。
平成25年	3月 4月 11月	職員3名退職（うち再任用職員1名）し、52名となる。 消防吏員5名採用し57名となる。 中国四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練に後方支援隊が参加する。（徳島県阿南市）

平成26年	3月	職員3名退職（うち救急救命士1名）し54名となる。 救急救命士試験に合格し14名体制となる。 消防救急デジタル無線（共通波）運用を開始する。
	4月	十一代目消防長に総務課長片山保が就任する。 消防吏員1名、再任用職員1名採用し56名となる。
	10月	ホース積載車（日産クリッパー）を購入し、署に配置する。
	11月	中国四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練に後方支援隊が参加する。 （岡山県岡山市）
平成27年	2月	火災原因調査車（トヨタハイエース）を購入し、消防本部に配置する。
	3月	再任用職員1名退職し55名となる。 救急救命士試験に合格し15名体制となる。
	4月	消防吏員1名採用し56名となる。
	11月	中国四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練に救助隊が参加する。 （香川県高松市） 緊急消防援助隊全国合同訓練に後方支援隊員が参加する。 （千葉県市原市）
	12月	高規格救急車（日産パラメディック）を購入し、琴南出張所に配置する。
平成28年	3月	職員1名退職し55名となる。 救急救命士試験に合格し16名体制となる。
	4月	消防吏員4名採用し59名となる。 熊本地震が発生し、香川県緊急消防援助隊として隊員8名を熊本県上益城郡益城町へ派遣する。
	6月	アナログ無線運用を終了し、設備を撤去する。
	10月	梯子付消防自動車（30m級 日野）を購入し、署に配置する。
	12月	防災活動車（日産クリッパー）を日本消防協会より寄贈され消防本部に配置する。
平成29年	3月	救急救命士試験に合格し17名体制となる。
	4月	消防吏員1名採用し60名となる。
	10月	中国四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練に救急隊が参加する。 （島根県安来市）
平成30年	3月	消防緊急通信指令施設（通信指令系）を更新する。 職員2名退職し58名となる。 救急救命士試験に合格し18名体制となる。
	4月	十二代目消防長に消防次長宮下春夫が就任する。 消防吏員4名、再任用職員1名採用し63名となる。 香川県消防防災航空隊へ職員1名派遣する。（3年間） 職員1名退職し62名となる。
	7月	平成30年7月豪雨が発生し、香川県緊急消防援助隊として隊員16名を広島県安芸郡坂町小屋浦へ派遣する。 職員1名退職し61名となる。
平成31年	1月	高規格救急車（日産キャラバン）を日本損害保険協会より寄贈され署に配置する。
	2月	救助工作車Ⅱ型（日野）を購入し、署に配置する。
	3月	救急救命士試験に合格し19名体制となる。 再任用職員1名退職し60名となる。
	4月	消防吏員3名採用し63名となる。
令和元年	10月	中国四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練に救助隊が参加する。 （高知県）

令和2年	3月	救急救命士試験に合格し20名体制となる。 水槽付きポンプ車（CD1 A-2級 日野デュトロ）を購入し、琴南出張所に配置する。
	4月	消防吏員2名採用し65名となる。
	10月	消防緊急通信指令施設（情報系）を更新する。
令和3年	3月	救急救命士試験に合格し21名体制となる。
令和4年	3月	救急救命士試験に合格し22名体制となる。 高規格救急車（日産キャラバン）を購入し、署に配置する。 職員1名退職し64名となる。
	4月	十三代目消防長に消防次長氏家秀彦が就任する。 ホース積載車（スズキスーパーキャリー）を購入し、琴南出張所に配置する。
	10月	中国四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練に後方支援隊員が参加する。 （徳島県阿南市）
令和5年	2月	職員1名退職し63名となる。
	3月	救急救命士試験に合格し23名体制となる。
	4月	消防吏員2名採用し65名となる。
	7月	職員1名退職し64名となる。
	10月	職員1名退職し63名となる。
	11月	職員1名退職し62名となる。
	12月	仲多度南部消防組合本庁舎改修工事（女子仮眠室）が竣工する。
令和6年	2月	十四代目消防長に消防次長石佛満明が就任する。
	3月	救急救命士試験に合格し23名体制となる。
	4月	消防吏員1名採用し63名となる。 香川県消防防災航空隊へ職員1名派遣する。（3年間）
	11月	中国四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練に消火隊が参加する。 （香川県さぬき市） 現場指揮車（三菱デリカ）を購入し、消防本部に配置する。
令和7年	3月	愛媛県今治市林野火災が発生し、香川県緊急消防援助隊として隊員13名を 愛媛県今治市長沢地区、朝倉北地区及び朝倉南地区へ派遣する。 救急救命士試験に合格し24名体制となる。
	6月	職員1名退職し62名となる。
	8月	職員1名退職し61名となる。
	10月	緊急消防援助隊香川県大隊実動訓練に参加する。（香川県高松市）
	11月	中国四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練に救助隊が参加する。（鳥取県）
令和8年	3月	救急救命士試験に合格し25名体制となる。
	4月	消防吏員3名採用し64名となり、うち1名が救急救命士のため26名体制となる。

総務編



小学生庁舎内見学

■ 消防組合令和7年度決算状況

(単位:千円)

科 目		令 和 7 年 度		令 和 6 年 度		比 較 増 減
		決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	対 前 年 比
歳 入	1. 分担金及び負担金	671,108	98.62%	643,365	97.91%	27,743
	2. 使用料及び手数料	6	0.00%	110	0.02%	△ 104
	3. 国庫支出金	0	0.00%	0	0.00%	0
	4. 財産収入	689	0.10%	804	0.12%	△ 115
	5. 繰入金	0	0.00%	7,449	1.13%	△ 7,449
	6. 繰越金	7,172	1.05%	4,783	0.73%	2,389
	7. 諸収入	1,205	0.18%	613	0.09%	592
	8. 組合債	0	0.00%	0	0.00%	0
	9. 寄附金	300	0.04%	0	0.00%	300
	計	680,480	100.00%	657,124	100.00%	23,356
歳 出	1. 議会費	252	0.04%	241	0.04%	11
	2. 総務費	587,948	88.70%	564,706	86.88%	23,242
	3. 消防費	71,648	10.81%	80,420	12.37%	△ 8,772
	4. 公債費	0	0.00%	2,907	0.45%	△ 2,907
	5. 諸支出金	2,974	0.45%	1,677	0.26%	1,297
	6. 予備費	0	0.00%	0	0.00%	0
	計	662,822	100.00%	649,951	100.00%	12,871
	実 質 収 支	17,658		7,173		10,485

■ 職員配置状況

(令和8年4月1日現在)

区 分		実 員	司 令 長	司 令	司 令 補	士 長	副 士 長	消 防 士	再任用
実 員		64							
本 部	消 防 長	1 (0)	1						
	次 長	1 (0)		1					
	総 務 課	3 (8)		1	2 (5)	(2)	(1)		
	総 務 課 (付)	4 (0)		1				3	
	予 防 課	3 (11)		1	2 (7)	(2)		(2)	
	警 防 課	2 (12)		1 (1)	1 (5)	(1)	(4)	(1)	
	通 信 指 令 課	7 (2)		1	4 (2)		2		
	県 防 災 航 空 隊	1 (0)				1			
	小 計	22 (33)	1 (0)	6 (1)	9 (19)	1 (5)	2 (5)	3 (3)	0 (0)
署 ・ 所	署 長	1 (0)		1					
	副 署 長	0 (0)							
	第 1 消 防 隊	12 (0)			6	3	2	1	
	第 2 消 防 隊	11 (0)			7	2		2	
	第 1 救 急 隊	5 (0)			3	1	1		
	第 2 救 急 隊	5 (0)			3		2		
	琴南出張所第1隊	4 (0)			2	1	1		
	琴南出張所第2隊	4 (0)			3			1	
	小 計	42 (0)	0 (0)	1 (0)	24 (0)	7 (0)	6 (0)	4 (0)	0 (0)
合 計		64 (33)	1 (0)	7 (1)	33 (19)	8 (5)	8 (5)	7 (3)	0 (0)

() 兼務

■ 職員の勤続年数

(令和8年4月1日現在)

階級等 区 分	計	司 令 長	司 令	司 令 補	士 長	副 士 長	消 防 士	再任用
5 年 未 満	6						6	
5 ～ 10年未満	8				3	5		
10 ～ 15年未満	10			1	5	4		
15 ～ 20年未満	16			16				
20 ～ 25年未満	6			6				
25 ～ 30年未満	6			6				
30 年 以 上	12	1	7	4				
再 任 用 職 員	0							
合 計	64	1	7	33	8	9	6	0

職員教育課程修了状況

(令和8年4月1日現在)

階 級 別 / 階 級 別		7年度	計	司令長	司 令	司令補	士 長	副 士 長	消 防 士
消防大学校	本科	0	0						
	幹部科	0	1	1					
	上級幹部科	0	0						
	警防科	0	4		2	2			
	予防科	0	4		1	3			
	救急科	0	0						
	救助科	0	3		2	1			
香川県消防学校	初任科	0	61	1	7	33	8	8	4
	幹部科	0	0						
	上級幹部科	1	3		3				
	中級幹部科	0	10	1	2	7			
	初級幹部科	0	12		3	9			
	警防科	0	17		3	14			
	予防科	0	2	1	1				
	予防査察科	2	15		4	10	1		
	危険物科	2	15		2	11	2		
	火災原因調査科	0	16		3	13			
	救急標準科	0	56		3	33	8	8	4
	救急Ⅰ課程	0	5	1	4				
	救急Ⅱ課程	0	5	1	4				
	救助科	2	41	1	5	21	7	6	1
	特殊災害科	2	31		4	26	1		
	通信指令講習	2	7			5		2	
	応急手当指導員講習	2	44		4	29	6	3	2
	実火災体験型講習	2	8			8			

各種資格・免許等取得状況

(令和8年4月1日現在)

区 分 / 階 級 別		7年度	計	司令長	司 令	司令補	士 長	副 士 長	消 防 士
自動車	大型特殊	0	0						
	大型1種	3	56	1	7	31	8	8	1
	準中型1種	0	4				1	2	1
	普通1種	0	61	1	7	33	8	8	4
救急・救助関連	救急救命士	1	25	1	3	15	3	3	0
	ガス溶接講習者	0	15	1	7	6		1	
	第2種酸素欠乏危険作業主任者	2	42	1	6	21	7	6	1
	潜水士	2	41	1	6	18	6	7	3
	小型移動式クレーン	2	44	1	7	31	4	1	
	玉掛技能習得者	2	45	1	7	31	4	2	
	巻上げ機	2	24			19	4	1	
無線・電気	陸上特殊第2級	3	25	1	6	17	1		
	陸上特殊第3級	0	1		1				
	航空特殊無線技師	0	4		1	3			
	アマチュア無線4級	0	1		1				
	第2種電気工事士	0	1		1				
予防関連・その他	小型船舶2級	0	5			3	1	1	
	乙種3類危険物	0	3		1	1	1		
	乙種4類危険物	0	28		1	21	4	2	
	消防設備士乙種6類	0	3		1	1	1		
	予防防火査察	2	13		1	10	1	1	

予防編



防火対象物立入検査

■ 防火対象物

○ 項別（用途区分別）とは

火災予防の対象となる建物、工作物、車両、船舶などを防火対象物といい、用途（火災に対する類似の危険性を有するグループ）によって、消防法施行令別表第1で次のように区分されている。この用途区分により、防火管理や消防用設備等の設置に関する基準が定められている。

○ 特定用途防火対象物とは

百貨店、旅館、ホテルなど、不特定多数の人が出入りする建物や、病院、老人福祉施設、幼稚園など災害弱者を収容する建物で、火災が発生した場合、人命危険が高い用途の対象物を特定用途防火対象物という。（下記の色網掛けしたものが該当する。）

防火対象物の現況(延べ面積150㎡以上のもの)

用途区分		主 な 用 途	件 数
(1) 項	イ	劇場、映画館、演芸場、又は観覧場	0
	ロ	公会堂、又は集会場	25
(2) 項	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブその他これらに類するもの	0
	ロ	遊技場、又はダンスホール	3
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗	0
	ニ	カラオケボックス、その他の個室型店舗等	0
(3) 項	イ	待合、料理店その他これらに類するもの	0
	ロ	飲食店	21
(4) 項		百貨店、マーケット、その他の物品販売業を営む店舗、又は展示場	40
(5) 項	イ	旅館、ホテル、宿泊所、その他これらに類する施設	32
	ロ	寄宿舎、下宿、又は共同住宅	88
(6) 項	イ	病院、診療所、又は助産所	20
	ロ	養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、有料老人ホーム等	12
	ハ	老人デイサービスセンター、又は老人福祉センター、保育所等	22
	ニ	幼稚園、特別支援学校	2
(7) 項		小、中、高等学校、高等専門学校、大学校、各種学校、その他これに類するもの	33
(8) 項		図書館、博物館、美術館などその他これらに類するもの	6
(9) 項	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場などその他これらに類するもの	3
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	2
(10) 項		車両の停車場、又は船舶、若しくは航空機の発着場	2
(11) 項		神社、寺院、教会その他これらに類するもの	27
(12) 項	イ	工場、又は作業場	118
	ロ	映画スタジオ、又はテレビスタジオ	1
(13) 項	イ	自動車車庫、又は駐車場	13
	ロ	航空機、又は回転翼航空機の格納庫	0
(14) 項		倉庫	103
(15) 項		前各項に該当しない事業場	125
(16) 項	イ	特定用途部分を含む複合用途防火対象物	64
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	21
(16の2) 項		地下街	0
(16の3) 項		準地下街	0
(17) 項		重要文化財等	3
(18) 項		延長50m以上のアーケード	0
(19) 項		市町村長の指定する山林	0
(20) 項		総務省令で定める舟車	0
		合 計	786

■ 予防査察

査察は、人命の安全と財産の保護を最大の目的として実施している。消防法令に基づき、消防職員が防火対象物や危険物施設など関係のある場所に立入り、建物の位置、構造、設備及び管理の状況について、火災予防上の必要な検査や防火指導を行っている。

消防法令違反や火災予防上危険と認められる不備を発見したときは、当該関係者に対し是正するよう指導している。また、重大な法令違反や著しい火災発生危険、及び人命危険等が認められる時は、警告や命令を行い違反是正の促進を図っている。

査察の執行状況

区 分	一般防火対象物	危険物施設	合 計
予防査察回数	41	102	143

■ 防火対象物定期点検報告制度

防火対象物定期点検報告制度は、旅館、ホテル、百貨店、集会場など不特定多数の人を収容する建物のうち、収容人員30人以上300人未満で特定用途部分が3階以上の階、又は地階に存するもののうち階段が1つのもの（屋外階段であれば免除）あるいは、収容人員300人以上の防火対象物が該当する。

自動火災報知設備や屋内消火栓設備などの消防用設備等が適法に設置され、機能が適正に維持されているか、あるいは、火災発生時に建物の関係者がすばやく消火活動を行ったり、利用者を安全な場所に避難させることができるかなど、ハード、ソフト両面から審査している。

その結果、一定の防火基準に適合した建物の関係者は、防火基準点検済証を掲出することができる。ホテルのフロント、百貨店の入り口など見やすい位置に掲示することで、利用者に建物が防火上安全であることの情報を提供するとともに、建物の関係者に対し防火意識の高揚を図っている。

なお、防火対象物の全ての部分が3年間継続して消防法令を遵守している場合は、防火優良認定証を掲出することができる。



防火基準点検済証



防火優良認定証

◆ 防火基準点検済証の交付状況

建物の用途等	交付件数
集会場等	3
百貨店、マーケット、物品販売店舗等	5
旅館、ホテル等	3

◆ 防火優良認定証の交付状況

建物の用途等	交付件数
集会場等	1
百貨店、マーケット、物品販売店舗等	0
旅館、ホテル等	0

■ 防火対象物適合表示制度

防火対象物適合表示制度は、収容人員が30人以上で、地階を除く階数が3以上の宿泊施設を対象としている。消防法令のほか、重要な建築構造等に関する基準に適合していると認められた場合に表示マークが交付される。

◆ 表示マークの交付状況

交付件数	1
------	---



表示マーク

■ 防火管理

防火管理とは、火災の発生を未然に防ぎ、かつ、万一火災が発生したときには、その被害を最小限に止めるために、必要かつ万全な対策を立て、それを実行することをいう。

すべての建物では、自主防火管理の原則に基づき、火災発生排除と万一の火災発生に対する体制の確立を図ることが重要である。しかし、自主的な防火管理を期待するだけでは、その建物の安全が十分に確保されない場合があるため、特に多数の人を収容する建物については、消防法で一定の方法による防火管理を行うことを義務付け防火管理の徹底を図っている。

多数の人を収容する建物では、いったん火災が発生すると人的、物的ともに大きな被害が出るおそれがあるため、建物の管理権原者に対し、防火管理者の選任や防火責任者の選任、消防計画書の作成など、火災等の被害を最小限にとどめるための災害活動管理体制を確保するよう指導している。

○ 防火管理の状況

対 象 種 別		琴 平 町	まんのう町	計
防火管理者を選任しなければならない防火対象物数	甲 種	88	102	190
	乙 種	18	11	29
防火管理者を選任している防火対象物数	甲 種	79	96	175
	乙 種	13	8	21
消防計画を作成し届出ている防火対象物数	甲 種	69	94	163
	乙 種	9	8	17

○ 特定用途防火対象物の訓練状況

対 象 種 別		琴 平 町	まんのう町	計
消 火 訓 練	1回	13	15	28
	2回以上	15	26	41
避 難 訓 練	1回	16	12	28
	2回以上	16	30	46

■ 消防同意

消防同意は、消防が防火の専門家という立場から建物の火災予防について、設計の段階から関与し、建物の安全性を高めることを目的として設けられている制度です。防火上の安全性や消防活動上の観点から審査指導を行っています。また、用途や規模によっては工事中や完成時に検査を行い建物の安全化に努めている。

○ 建築確認申請指導状況

申請要旨	指 導 な し	指 導 あ り	不 同 意	計
新 築	6	1		7
増 築	5			5
そ の 他				0
計	11	1	0	12

■ 消防用設備等の設置

火災の発生をいち早く知り、迅速な初期消火を行い、安全な避難誘導が行えるよう消防法では防火対象物の関係者に対して、防火対象物の用途、規模、構造及び収容人員に応じて、一定の基準に従って消防用設備等の設置を義務付けている。これらに基づいて防火対象物の計画、設計段階で消防用設備等の設置指導を行ない、完成時に完成検査を実施している。さらに、完成後の査察や消防設備点検結果報告により、その適正な維持管理の指導に努めている。

○ 主な消防用設備等の設置状況

種 類		設 置 数
消 火 設 備	屋 内 消 火 栓 設 備	126
	ス プ リ ン ク ラ ー 設 備	27
	水 噴 霧 他、その他の消火設備等	18
	屋 外 消 火 栓 設 備	19
警 報 設 備	自 動 火 災 報 知 設 備	512
	火 災 通 報 装 置	55
	非 常 警 報 設 備 等	155
	ガ ス 漏 れ 警 報 設 備	6
避 難 設 備	避 難 器 具	89
	誘 導 灯	379
消火活動上必要な施設	排 煙 設 備	1
	連 結 送 水 管	12
	非 常 コ ン セ ン ト 設 備	2
非 常 電 源	専 用 受 電 設 備	43
	蓄 電 池 設 備	0
	自 家 発 電 設 備	49

■ 消防用設備等の点検制度

消防用設備等は、いついかなる場合に火災が発生しても、確実にその機能が有効に働かなければならない。

そのため、消防法では、消防用設備等の点検報告や整備を含めた適正な維持管理を行うことを防火対象物の関係者に義務付けている。

消防用設備等の点検は、関係者等が行うこととされているが、一定の規模以上の防火対象物になると、点検や整備は専門知識や技術を必要とされることから、消防設備士が点検と整備を、消防設備点検資格者が点検をそれぞれ実施することとされており、適正な点検整備が行われるよう指導を行っている。

○ 点検報告済防火対象物件数

	面積	琴 平 町	まんのう町	計
点検報告済防火対象物	1,000㎡未満	99	140	239
	1,000㎡以上	35	49	84

■ 危険物の規制

危険物は、消防法別表において、化学的物理的性質により第1類から第6類までに分類され、それぞれ類ごとに共通する性質を有している。

危険物は、地域住民の生活に密着している反面、ひとたび災害が発生したならば住民の生活を破壊したり、尊い生命までも奪ってしまう可能性がある。この危険物を安全に管理するため、危険物施設の設置許可申請に際し、消防法令に規定する技術基準の適合性を審査し、完成検査を行い安全な施設の設置指導を行っている。また、これらの危険物施設に対し、定期的な立入検査及び自主点検制度等を通じて適正に維持管理が行われ、かつ、危険物取扱者等に対して適正な貯蔵取扱が行われるよう指導をしている。

○ 貯蔵取扱・類別件数

製造所等の別／類別		第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	計
製 造 所								0
貯蔵所	屋 内 貯 蔵 所				17			17
	屋外タンク貯蔵所				5			5
	屋内タンク貯蔵所				5			5
	地下タンク貯蔵所				28			28
	簡易タンク貯蔵所							0
	移動タンク貯蔵所				9			9
	屋 外 貯 蔵 所				3			3
	小 計	0	0	0	67	0	0	67
取扱所	給 油 取 扱 所				23			23
	販 売 取 扱 所							0
	移 送 取 扱 所							0
	一 般 取 扱 所				14			14
	小 計	0	0	0	37	0	0	37
合 計		0	0	0	104	0	0	104

○ 倍数別件数

製造所等の別／類別		5倍以下	5倍を超え 10倍以下	10倍を超え 50倍以下	50倍を超え 100倍以下	100倍を超え 150倍以下	150倍を超え 200倍以下	200 倍 を 超 え る	小計
製 造 所									0
貯蔵所	屋 内 貯 蔵 所	2	4	6	5				17
	屋外タンク貯蔵所	1	4						5
	屋内タンク貯蔵所	4	1						5
	地下タンク貯蔵所	11	1	7	8	1			28
	簡易タンク貯蔵所								0
	移動タンク貯蔵所	4	2	3					9
	屋 外 貯 蔵 所		1	1	1				3
	小 計	22	13	17	14	1	0	0	67
取扱所	給 油 取 扱 所	3	3	6	5	1	4	1	23
	販 売 取 扱 所								0
	移 送 取 扱 所								0
	一 般 取 扱 所	6	5	3					14
	小 計	9	8	9	5	1	4	1	37
合 計		31	21	26	19	2	4	1	104

■ 届出等に基づく審査・検査等事務

消防法令の規定により届出等をされた事項や内容の審査・検査を通じて、建物や危険物施設等の実態、火災の予防上必要な事項、地理、水利、道路等の状況など災害の予防に関係する指導を行っている。

○ 届出等の受理状況

届 出 等 に 基 づ く 種 別	件 数
防火（防災）管理者選任・解任届出書	32
消防計画作成（変更）届出書	26
防火対象物点検報告特例認定申請書	1
管理権原者変更届出書	0
防火対象物点検結果報告書	27
工事整備対象設備等着工届出書	30
消防用設備等（特殊消防用設備等）設置届出書	66
防火対象物使用開始届出書	22
消防用設備等点検結果報告書	268
圧縮アセチレンガス等の貯蔵又は取扱いの開始（廃止）届出書	8
喫煙・裸火使用・危険物品持込み承認申請書	7
炉・厨房設備・温風設備・ボイラー・給湯湯沸設備・乾燥設備設置届出書	3
サウナ設備設置届出書	2
ヒートポンプ冷暖房機設置届出書	0
火花を生ずる設備・放電加工機設置届出書	0
燃料電池発電・発電・変電・蓄電池設備設置届出書	13
ネオン管灯設備設置届出書	0
少量危険物・指定可燃物貯蔵・取扱い届出書・廃止届出書・種類、数量変更届出書	18
水素ガスを充てんする気球の設置届	0
火災とまぎらわしい煙又は火炎を発するおそれのある行為の届出書	333
煙火打上げ・仕掛け届出書	12
催物開催届出書	0
露店等の開設届出書	36
道路工事届出書	203
水道断減水届出書	0

警防編



航空隊合同訓練

消防車両の現況

(令和8年4月1日現在)

所属	種 別	類 別	メーカー	機 装	級 別	初年度 登 録	経過 年数	備 考	登録番号
消防本部	旧 指 令 車	普 通 貨 物	日産	日産		H16/11	21	※1	香川800 さ4688
	連 絡 車	ミ ニ バ ン	トヨタ	トヨタ		R8/3	0	※2	香川301 さ4655
	指 揮 車	普 通 乗 用	三 菱	特殊車両 企画		R6/9	1		香川830 す2411
	火災原因調査車	ワ ン ボ ッ ク ス	トヨタ	オートワーク ス京都		H27/2	11		香川800 す165
	指 令 車	軽 四 輪 貨 物	日 産	クラタ		H28/12	9	寄贈車両 ※3	香川880 あ1237
	人 員 搬 送 車	マイクロバス	日 産	日 産		H15/1	23		香川200 さ230
	活 動 支 援 車	軽 四 輪トラック	三 菱	J A 香川		H12/11	25		香川80 あ1046
	業 務 連 絡 車	原 付 2 輪 車	ホンダ			H11/4	27		琴平町 公366
消防署	水槽付きポンプ車	C D - 1	日 野	長 野	A - 2	H23/12	14	自動泡混合 システム搭載	香川800 さ8738
	水槽付きポンプ車	水 II - A	日 野	長 野	A - 2	H15/1	23	高圧泡混合 搭載	香川800 は228
	ポ ン プ 車	C D - 1	いすゞ	吉 谷	A - 1	H7/8	30	寄贈車両	香川88 さ9279
	ホ ー ス 積 載 車	軽 四 輪トラック	日 産	J A 香川		H26/10	11		香川880 あ1006
	は し ご 車	30メートル級	日 野	森 田		H28/10	9		香川800 は903
	救 助 工 作 車	救助工作車Ⅱ型	日 野	テイセン		H31/2	7		香川800 は1038
	林野火災工作車	コンテナ/積載車	日 野	長 野		H17/2	21	アームロール型	香川830 ぬ119
	自 走 式 照 明 車	自 走 式 照 明 車	いすゞ			H9/8	28	県所有を管理	香川88 す1043
	高規格救急車	高 規 格	トヨタ	トヨタ		H21/11	16		香川830 む119
	高規格救急車	高 規 格	日 産	オートワーク ス京都		H31/1	7	寄贈車両	香川800 す2052
	高規格救急車	高 規 格	日 産	オートワーク ス京都		R4/3	4		香川830 す9903
琴南出張所	ポ ン プ 車	C D - 1	日 野	長 野	A - 2	R2/2	6		香川800 す2494
	高規格救急車	高 規 格	日 産	日 産		H27/11	10		香川800 す525
	ホ ー ス 積 載 車	軽 四 輪トラック	スズキ	トノックス		R4/3	4		香川880 あ1681

※1新車購入に伴い廃車予定、種別を旧指令車とする。
※2新車購入に伴い、種別を連絡車とする。
※3新車購入に伴い、種別を指令車とする。

■ 消防装備一覧（抜粋）

種 別	装 備 名	台 数	7年度 購入	種 別	装 備 名	台 数	7年度 購入
消 防 用 資 機 材（抜粋）				救 助 用 資 機 材（抜粋）			
消 火 用 資 機 材 等	小型動力ポンプ C-1級	3		特 殊 災 害 資 機 材	地震警報器	1	
	ジェットシューター	58			可燃性ガス測定器	2	
	ホース(65mm×20m)	156			複合型ガス測定器	4	
	ホース(50mm×20m)	65			ポケット型線量計	13	
	ホース(40mm×30m)	45			空間線量計	3	
	ホース(40mm×20m)	64			放射能表面汚染検査計	2	
	高圧送水ポンプ Wick250	2			陽圧式化学防護服(レベルA)	2	
	ウォータージャケット	30			化学防護服(レベルB)	8	
	リレーコントロールバルブ	8			有毒ガス検知器	1	
	かぎ付梯子	7			除染テント	1	
	2連アルミ合金製梯子	3			夜間用暗視装置	1	
	2連チタン製梯子	1					
3連チタン製梯子	4		水 難 用 器 具	ウェットスーツ・ドライスーツ	38	5	
フোগネイルノズル	2			救命ボート(ゴム製)	2		
救 急 用 資 機 材（抜粋）				救命ボート(アルミ製)	1		
高 度 救 命 用 資 機 材 等	気道確保用資機材一式	4		2	船外機	2	
	自動体外式除細動器	5			水中投光器	15	
	AEDトレーナー	8			潜水器具	11	
	自動式心肺蘇生装置	3			水中無線船上	2	
	アイソレーター	1			水中無線送受信機	8	
	バックボード一式	11			水中スクーター	2	
	患者監視装置	4			潜水用ボンベ	16	1
				切 断 ・ 破 壊 用 器 具	油圧スプレッダー・カッター	2	
					コンビツール	1	
そ の 他 の 資 機 材（抜粋）			エアースー		1		
そ の 他 器 具	高圧ガス製造設備	1			エンジンカッター	3	
	オイルフェンス	5			チェーンソー	7	
	衛星電話(携帯 1)	1			コンクリートカッター	1	
	カーナビゲーションシステム	11			削岩機	1	
	GoPro	6			ハンマードリル	2	
	オゾンガス発生装置	6			ガス溶断機	1	
	噴霧器(感染対策用)	3			ホーリガンツール	3	
	ワンタッチタープ(熱中症対応用)	2					
救 助 用 資 機 材（抜粋）				隊 員 保 護 用 器 具	防毒マスク	5	
救 助 資 機 材	マット式空気ジャッキ	2			空気呼吸器	27	2
	救命索発射銃(空気圧式)	1			酸素呼吸器	5	
	画像探索器Ⅱ型	1			29. 4Mpa用ボンベ	52	5
	地中音響探知機	1			耐電衣	6	

■ 過去10年間事故別件数・出場延べ人員

種別／区分	28 年		29 年		30 年		元年		2年		3年	
	件 数	人 員	件 数	人 員	件 数	人 員	件 数	人 員	件 数	人 員	件 数	人 員
合 計	2,261	7,837	2,434	9,000	2,238	7,977	2,067	7,498	2,092	7,808	1,957	6,560
火 災 出 動	10	139	19	304	15	261	17	221	18	302	15	256
救 急 出 場	1,730	5,190	1,775	5,329	1,755	5,327	1,668	5,006	1,504	4,516	1,531	4,593
救 助 出 場	19	148	19	182	17	172	15	125	15	138	23	244
風 水 害			6	14	3	10						
演 習 訓 練	214	1,219	279	2,000	175	1,220	212	1,516	321	2,027	19	283
広 報・指 導	109	537	164	570	100	337	80	276	145	445	267	837
警 防 調 査	111	324	124	379	130	427	48	169	55	158	70	219
特 別 警 戒	4	30	11	48	5	51	4	33	1	4		
誤 報 等	4	60	3	48	6	75	3	46	5	71	2	22
そ の 他	60	190	34	126	32	97	20	106	28	147	30	106

種別／区分	4年		5年		6年		7年		過去10年間平均	
	件 数	人 員	件 数	人 員	件 数	人 員	件 数	人 員	件 数	人 員
合 計	2,021	6,881	2,252	7,978	2,024	6,624	1,966	6,505	2,131.2	7,466.8
火 災 出 動	26	424	19	242	18	204	23	314	18.0	266.7
救 急 出 場	1,608	4,824	1,730	5,190	1,787	5,361	1,627	4,881	1,671.5	5,021.7
救 助 出 場	25	234	24	220	23	210	25	237	20.5	191.0
風 水 害									0.9	2.4
演 習 訓 練	26	340	258	1,561	229	1,279	35	296	176.8	1,174.1
広 報・指 導	193	567	80	255	49	144	110	320	129.7	428.8
警 防 調 査	102	305	81	237	75	240	89	267	88.5	272.5
特 別 警 戒			3	28	7	41	16	50	5.1	28.5
誤 報 等	3	34	13	128	19	248	2	26	6.0	75.8
そ の 他	38	153	44	117	33	88	39	114	35.8	124.4

■ 消防水利状況

(令和8年4月1日現在)

区 分			琴 平 町	ま ん の う 町	総 数
消 火 栓	公 設		202	420	622
防 火 水 槽	公 設	10m ³ 以 上	1	2	3
		60m ³ 以 上 100m ³ 未 満		1	1
		40m ³ 以 上 60m ³ 未 満	13	96	109
		40m ³ 未 満	6	3	9
		無 底			0
そ の 他	井 戸				0
	河 川 ・ 溝 等		15		15
	プ ー ル		4	12	16
	濠 ・ 池 等		10		10

災害統計編



山岳救助訓練

■ 火災の概況

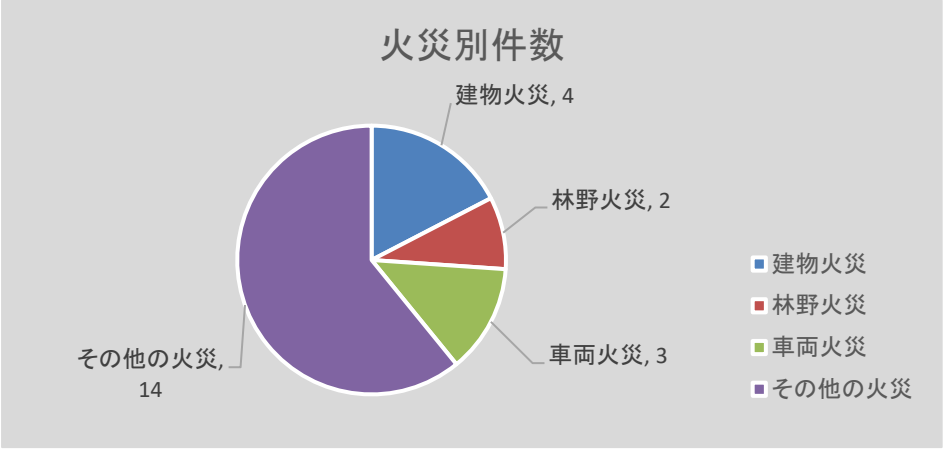
○ 出火件数

令和7年中の総出火件数は23件で、前年の18件に比べ5件増加しており、出火率（人口1万人当りの出火件数）は、9.5件となっている。

町別件数をみると、琴平町5件（22%）、まんのう町18件（78%）となっている。

火災種類別の構成でみると、建物火災4件（17.4%）で、林野火災2件（8.7%）車両火災3件（13.0%）その他の火災14件（60.9%）となっている。

また、月平均にすると、1.9件の出火となっている。



○ 死傷者

火災による死者は0人（前年0人）で、前年と増減はない。

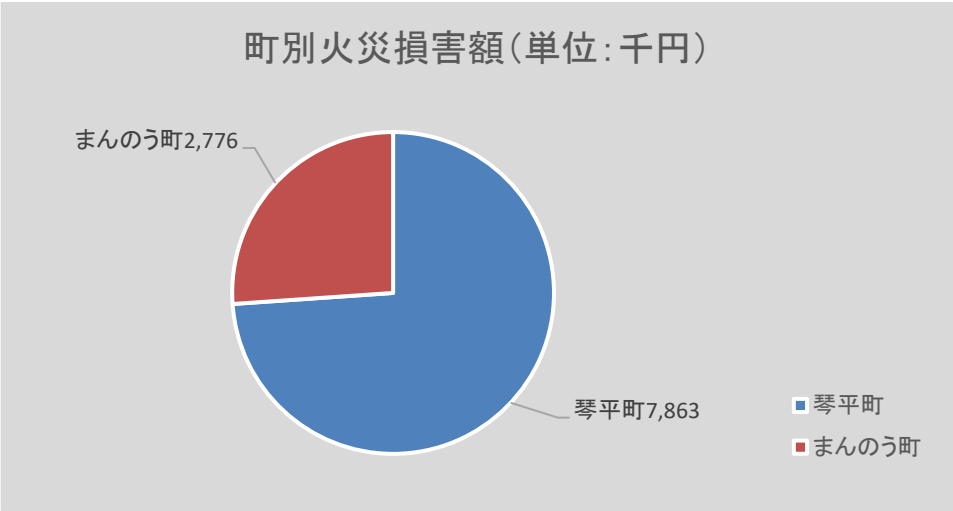
また、負傷者は4人（前年1人）で、前年と比べて3人増加している。

○ 損害額

火災による損害額は10,639千円で、前年の4,233千円に比べ、6,406千円増加している。

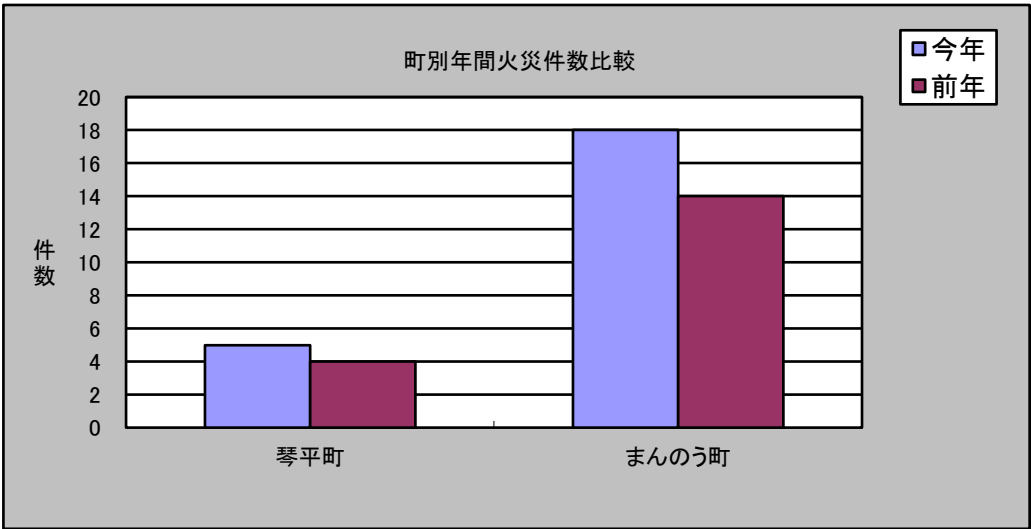
町別にみると、琴平町7,863千円（74%）、まんのう町2,776千円（26%）となっている。

また、1日の平均損害額は29,148円となっており、住民1人当たり損害額は、438円となっている。



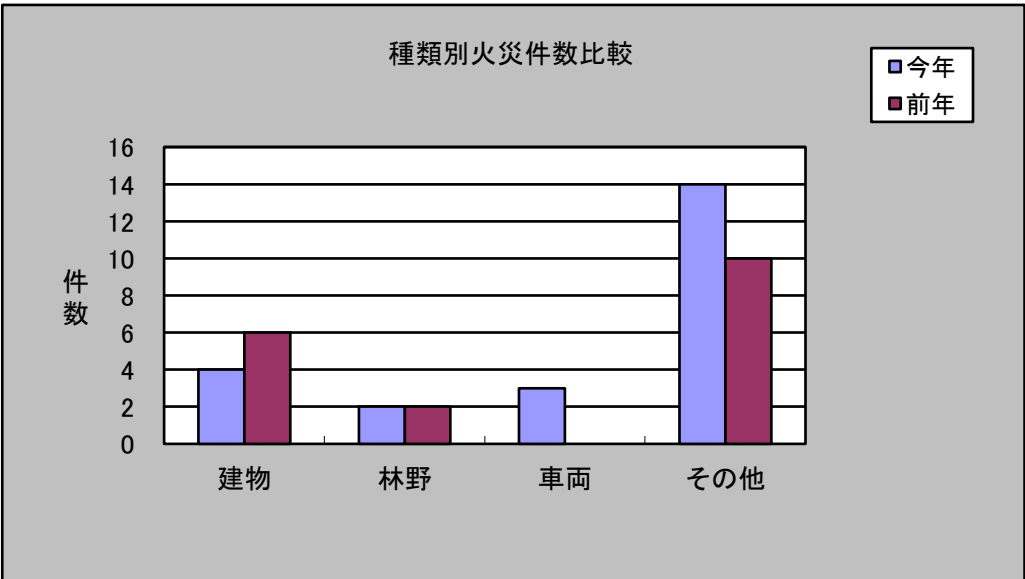
町別・月別火災件数

町 別 / 月 別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	前年
琴 平 町		1		1			1	1			1		5	4
まんのう町	2		4	3		1	1	2	1	1	2	1	18	14
計	2	1	4	4	0	1	2	3	1	1	3	1	23	18



種類別・月別火災件数

種 別 / 月 別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	前年
建 物 火 災		1					1				2		4	6
林 野 火 災	1		1										2	2
車 両 火 災	1									1	1		3	0
その他の火災			3	4		1	1	3	1			1	14	10
計	2	1	4	4	0	1	2	3	1	1	3	1	23	18

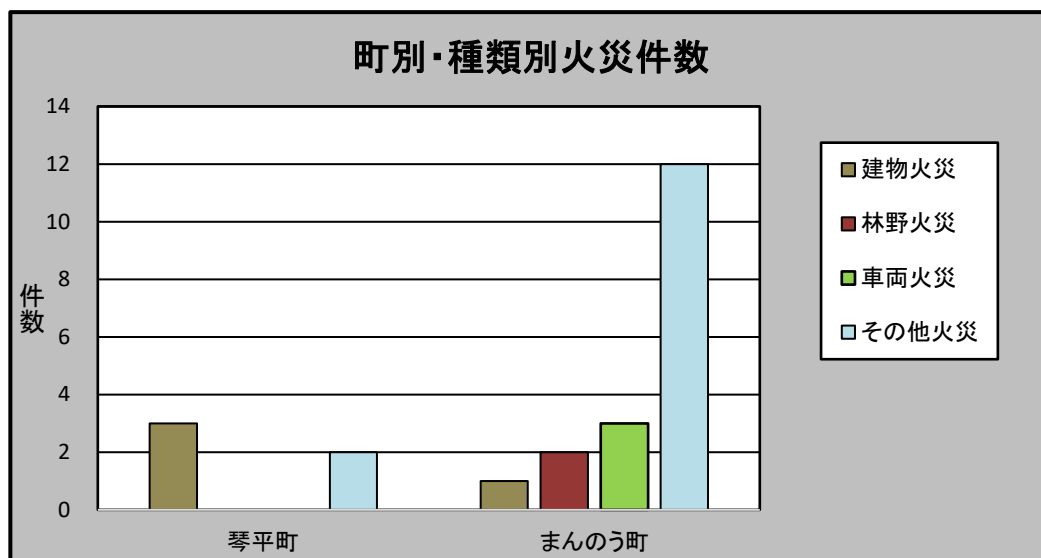


■ 町別の火災概況

区 分 ／ 町 別			琴 平 町	ま ん の う 町	計	
全 火 災 件 数			5	18	23	
建 物 火 災	住 宅		(件)	2	1	3
	併 用 住 宅		(件)			0
	共 同 住 宅		(件)			0
	工 場		(件)			0
	倉 庫 ・ 納 屋		(件)			0
	そ の 他		(件)	1		1
小 計			(件)	3	1	4
林 野 火 災			(件)		2	2
車 両 火 災			(件)		3	3
航 空 機 火 災			(件)			0
そ の 他 の 火 災			(件)	2	12	14
焼 損 面 積	建 物	床 面 積	(㎡)	262	233	495
		表 面 積	(㎡)	4		4
	林 野		(a)		3	3
焼 損 棟 数			(棟)	9	2	11
り 災 世 帯			(世帯)	3	1	4
り 災 人 員			(人)	5	1	6
死 者			(人)			0
負 傷 者			(人)	2	2	4
損 害 額			(千円)	7,863	2,776	10,639

■ 町別・種類別火災件数

種別/町別	琴平町	まんのう町	計
建 物 火 災	3	1	4
林 野 火 災		2	2
車 両 火 災		3	3
そ の 他 の 火 災	2	12	14
計	5	18	23



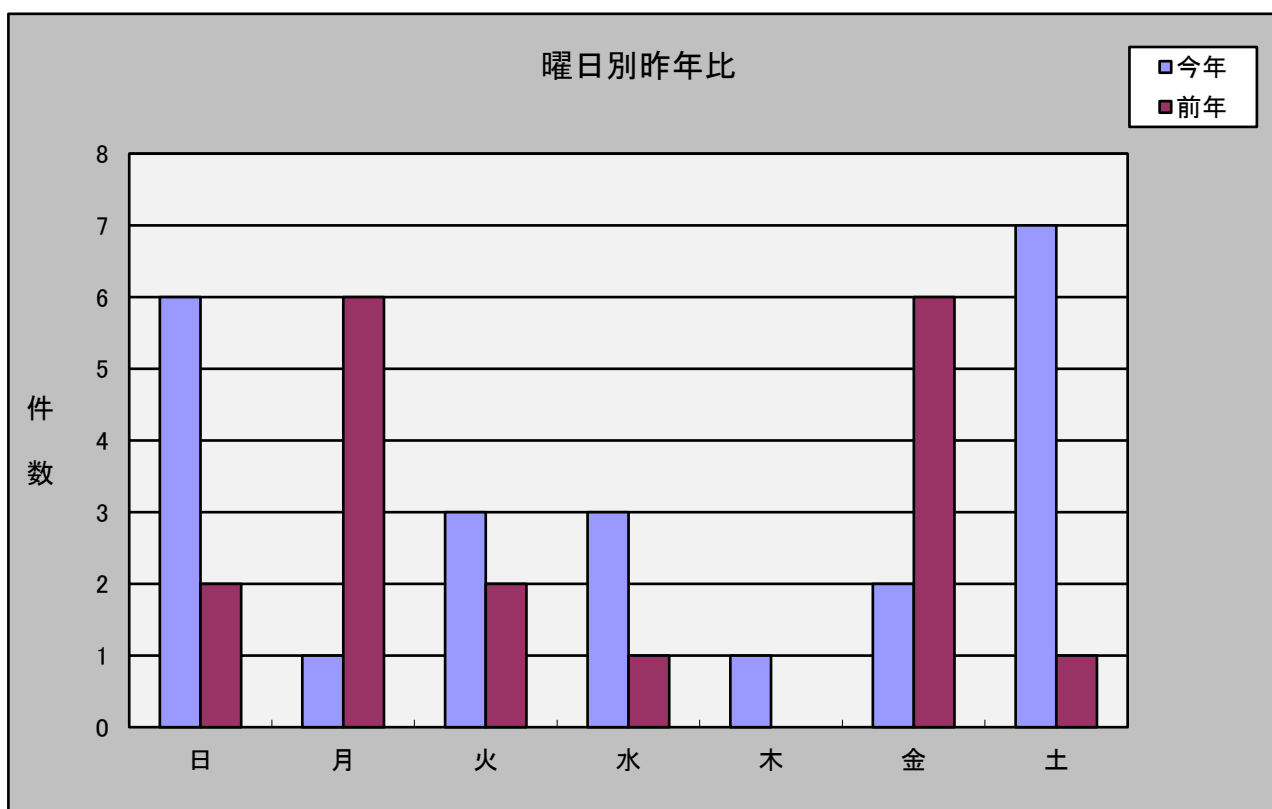
■ 町別・月別火災損害額

(単位 : 千円)

月別/町別	琴 平 町	ま ん の う 町	計	前 年
1月		181	181	0
2月			0	14
3月		8	8	2,244
4月		340	340	0
5月			0	0
6月			0	0
7月	4,103		4,103	7
8月			0	0
9月			0	645
10月			0	1,023
11月	3,760	2,247	6,007	0
12月			0	300
計	7,863	2,776	10,639	4,233

■ 曜日別・月別火災件数

月別 曜日別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	前年
日	2			1		1		2					6	2
月			1										1	6
火			1	1							1		3	2
水		1									1	1	3	1
木										1			1	0
金			1				1						2	6
土			1	2			1	1	1		1		7	1
計	2	1	4	4	0	1	2	3	1	1	3	1	23	18



■ 火災の比較概要

区 分		年 別	単位	令和7年	令和6年	前年比較
全 火 災		件 数	件	23	18	5
		損 害 額	千円	10,639	4,233	6,406
内 訳	建物火災	件 数	件	4	6	△ 2
		焼損床面積	m ²	495.00	83.87	411.13
		焼損表面積	m ²	4	0.06	3.94
		損 害 額	千円	10,110	3,933	6,177
	林野火災	件 数	件	2	2	0
		焼 損 面 積	a	3	0.37	2.63
		損 害 額	千円			0
	車両火災	件 数	件	3		3
		損 害 額	千円	181		181
	その他の火災	件 数	件	14	10	4
		損 害 額	千円	348	300	48
	焼 損 棟 数			棟	11	6
り 災 世 帯 数			世帯	4	4	0
り 災 人 員			人	6	8	△ 2
死 者			人			0
負 傷 者 数			人	4	1	3
出 火 率（人 口 1 万 人 当 り）			件	9.5	7.3	2.2
火 災 1 件 平 均 損 害 額			千円	463	235	228
建 物 火 災 1 件 平 均 損 害 額			千円	2,528	656	1,872
建 物 火 災 1 件 平 均 焼 損 面 積			m ²	123.80	13.40	110.4
1 ヶ 月 平 均 火 災 件 数			件	1.92	1.50	0.42

■ 過去10年間火災の推移

年 別 種 別			28年	29年	30年	元年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	過去10年 間の平均	
全 火 災		件 数	件	10	19	15	17	18	15	26	19	18	23	18.0
		損 害 額	千円	13,119	41,598	49,432	29,082	66,027	17,839	20,249	920	4,233	10,639	25,313.8
内 訳	建物火災	件 数	件	6	10	8	5	6	7	14	6	6	4	7.2
		焼損床面積	㎡	419	2,059	475	422	1,283	749	307	44	84	495	633.7
		焼損表面積	㎡	16	112	13		16	23	36	1		4	22.1
		損 害 額	千円	13,119	41,386	45,337	26,890	63,112	17,803	19,981	915	3,933	10,110	24,258.6
	林野火災	件 数	件	3	1	2	1	2	1	1	2	2	2	1.7
		焼損面積	a	3	5	9		3	2	19	1		3	4.5
		損 害 額	千円											0.0
	車両火災	件 数	件		4		1	1		3			3	1.2
		損 害 額	千円		211		2,192	2,500		135			181	521.9
	その他の火災	件 数	件	1	4	5	10	6	7	8	11	10	14	7.6
		損 害 額	千円		1	4,095		415	36	133	5	300	348	533.3
	焼 損 棟 数		棟	8	18	10	5	15	14	15	7	6	11	10.9
り 災 世 帯 数		世帯	5	9	4	5	6	7	11	5	4	4	6.0	
り 災 人 員		人	8	22	8	13	12	13	32	10	8	6	13.2	
死 者		人	1	2		1			2				0.6	
負 傷 者 数		人		6		2	4		2	1	1	4	2.0	
出火率(人口1万人当り)		件	3.5	6.7	5.5	6.3	6.8	6.9	10.2	7.5	7.3	9.5	7.0	
火 災 1 件 平 均 損 害 額		千円	1,311	2,189	3,295	1,710	3,668	1,189	779	48	235	463	1,488.7	
建物火災1件平均損害額		千円	2,186	4,138	5,667	5,378	7,012	2,543	1,427	153	656	2,528	3,168.8	
建物火災1件平均焼損面積		㎡	70.0	205.9	59.3	84.5	142.5	107.0	24.5	7.4	13.4	123.8	83.8	
1 ヶ 月 平 均 火 災 件 数		件	0.83	1.58	1.25	1.41	1.50	1.25	2.16	1.58	1.50	1.92	1.50	

■ 過去10年間で出火原因の推移

出火原因 \ 年別	28年	29年	30年	元年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	過去10年間の平均
たばこ		1	1	2	1			2	1	1	0.9
こんろ	2	3	1	1	1	1		1	1		1.1
かまど										1	0.1
風呂かまど	1										0.1
炉								1			0.1
焼却炉											0.0
ストーブ					1	1	2		2		0.6
ボイラー											0.0
煙突・煙道			1	1		1	1				0.4
排気管							1				0.1
電気機器		2	1					1		1	0.5
電気装置	2					1					0.3
電灯・電話等の配線			2		1		1				0.4
内燃機関											0.0
配線器具					1						0.1
火遊び							1				0.1
マッチ・ライター							1				0.1
たき火	1	1	3	1			2	2	1	4	1.5
溶接機・切断機					1	1					0.2
灯火		1						1			0.2
衝突の火花											0.0
取灰		1					1				0.2
火入れ	3	2	3	7	7	4	4	8	9	8	5.5
放火		1		1		1	2	1			0.6
放火の疑い											0.0
その他		4	2	2	3	3	9	2	2	6	3.3
不明・調査中	1	3	1	2	2	2	1		2	2	1.6
合 計	10	19	15	17	18	15	26	19	18	23	18.0

■ 救急統計

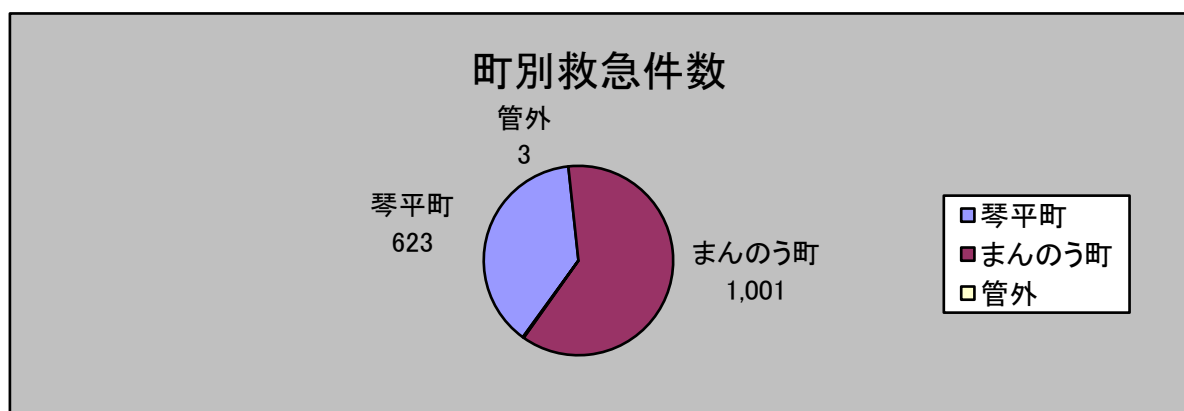
救急概要

○ 救急出場件数及び搬送人員

令和7年中における救急出場件数は1,627件（前年1,787件）で、前年に比べ160件減少し、搬送人員は1,503人（前年1,672人）で前年に比べ169人減少している。

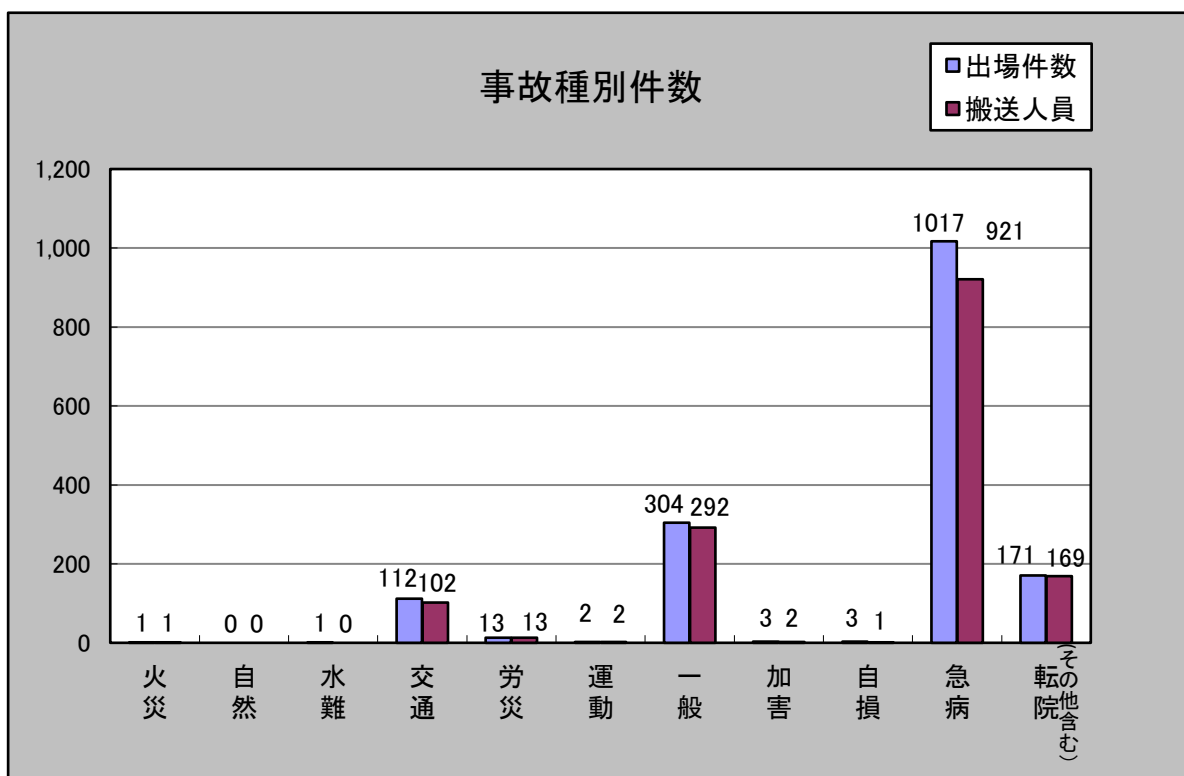
町別出場件数をみると、琴平町623件（38.3%）、まんのう町1,001件（61.5%）管外3件（0.2%）となっている。

また、1日の平均出場件数は、約4.5件となっている。



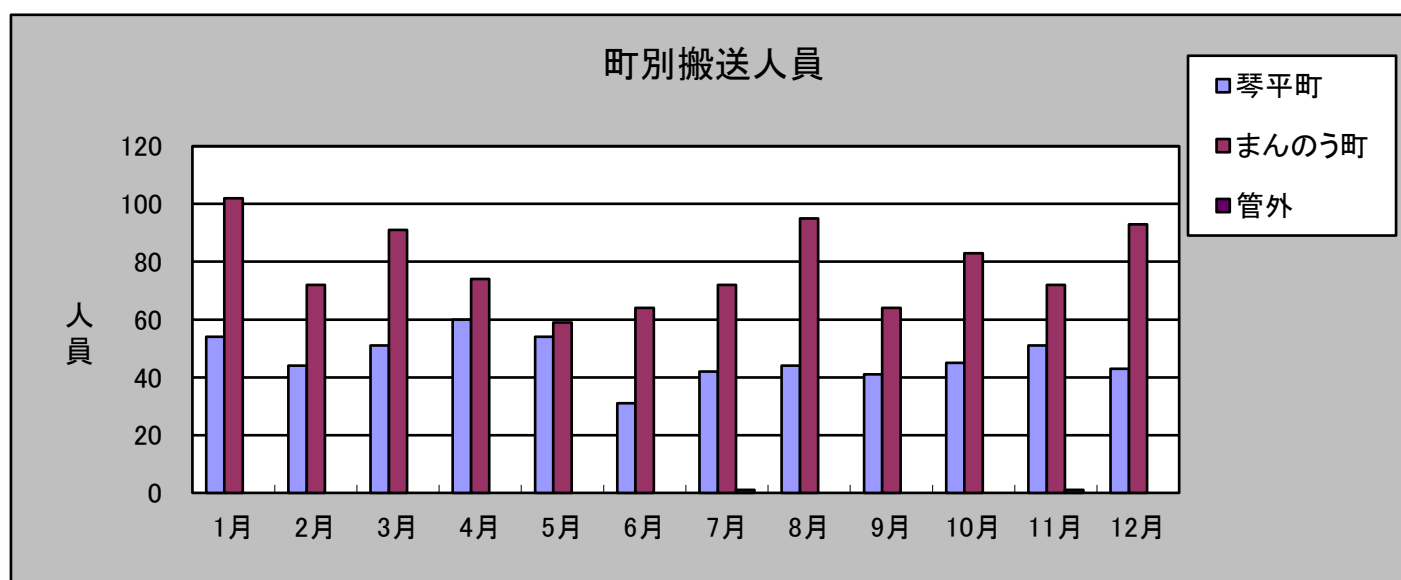
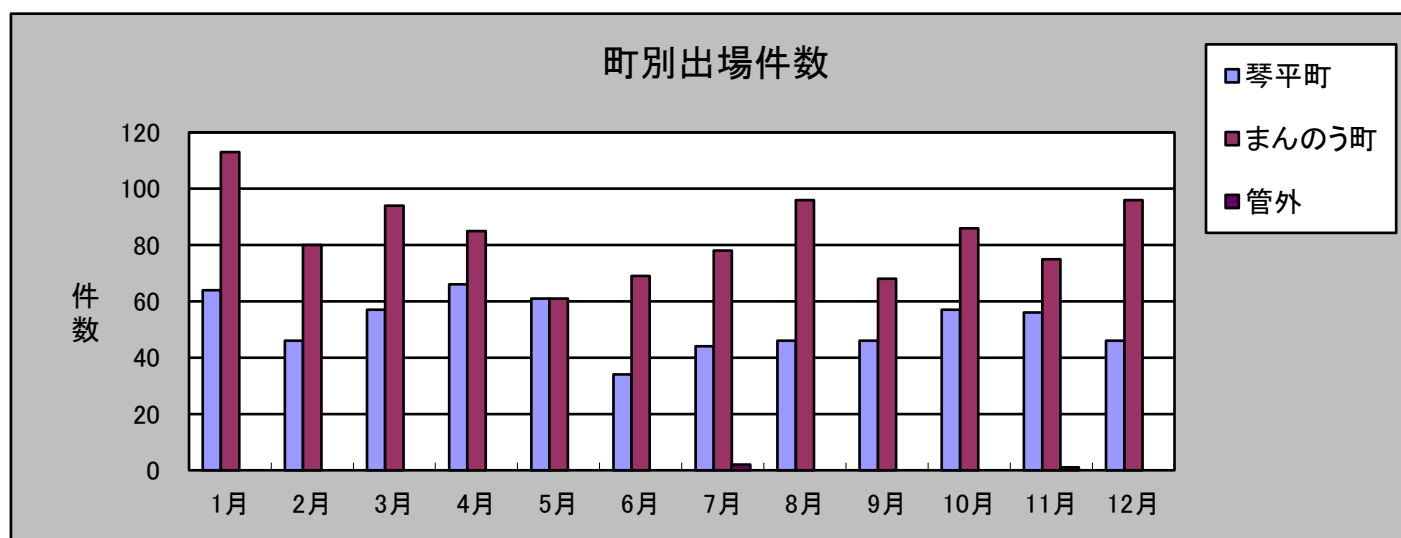
○ 事故種別件数及び搬送人員

事故種別件数及び搬送人員は、いずれも第1位が急病（1,017件、921人）、第2位が一般負傷（304件、292人）、第3位が転院（171件、169人）、第4位が交通（112件、102人）、以下、労災、加害、自損、運動、火災、水難の順となっている。



■ 町別救急件数

町別／月別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	前年
琴平町	出場件数	64	46	57	66	61	34	44	46	46	57	56	46	623	667
	搬送人員	54	44	51	60	54	31	42	44	41	45	51	43	560	613
まんのう町	出場件数	113	80	94	85	61	69	78	96	68	86	75	96	1,001	1,118
	搬送人員	102	72	91	74	59	64	72	95	64	83	72	93	941	1,058
管外	出場件数							2				1		3	2
	搬送人員							1				1		2	1
計	出場件数	177	126	151	151	122	103	124	142	114	143	132	142	1,627	1,787
	搬送人員	156	116	142	134	113	95	115	139	105	128	124	136	1,503	1,672



■ 事故種別救急件数

種別／月別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	前年
火災	出場件数											1		1	0
	搬送人員											1		1	0
自然災害	出場件数													0	0
	搬送人員													0	0
水難	出場件数									1				1	1
	搬送人員													0	0
交通事故	出場件数	2	10	12	13	9	8	9	17	10	11	6	5	112	97
	搬送人員	2	10	12	10	9	6	6	17	9	10	6	5	102	89
労働災害	出場件数	2	2		3	2		1	1		2			13	18
	搬送人員	2	2		3	2		1	1		2			13	18
運動競技	出場件数	1						1						2	13
	搬送人員	1						1						2	13
一般負傷	出場件数	32	17	28	28	26	18	19	26	26	23	33	28	304	328
	搬送人員	28	17	27	27	25	18	19	26	25	23	30	27	292	310
加害	出場件数			1						1		1		3	3
	搬送人員			1								1		2	2
自損行為	出場件数		1				1	1						3	12
	搬送人員							1						1	7
急病	出場件数	121	80	97	90	75	62	73	89	60	92	83	95	1,017	1,131
	搬送人員	104	71	89	77	67	58	68	86	55	78	78	90	921	1,051
その他 (転院含む)	出場件数	19	16	13	17	10	14	20	9	16	15	8	14	171	184
	搬送人員	19	16	13	17	10	13	19	9	16	15	8	14	169	182
合計	出場件数	177	126	151	151	122	103	124	142	114	143	132	142	1,627	1,787
	搬送人員	156	116	142	134	113	95	115	139	105	128	124	136	1,503	1,672

■ 不搬送件数状況

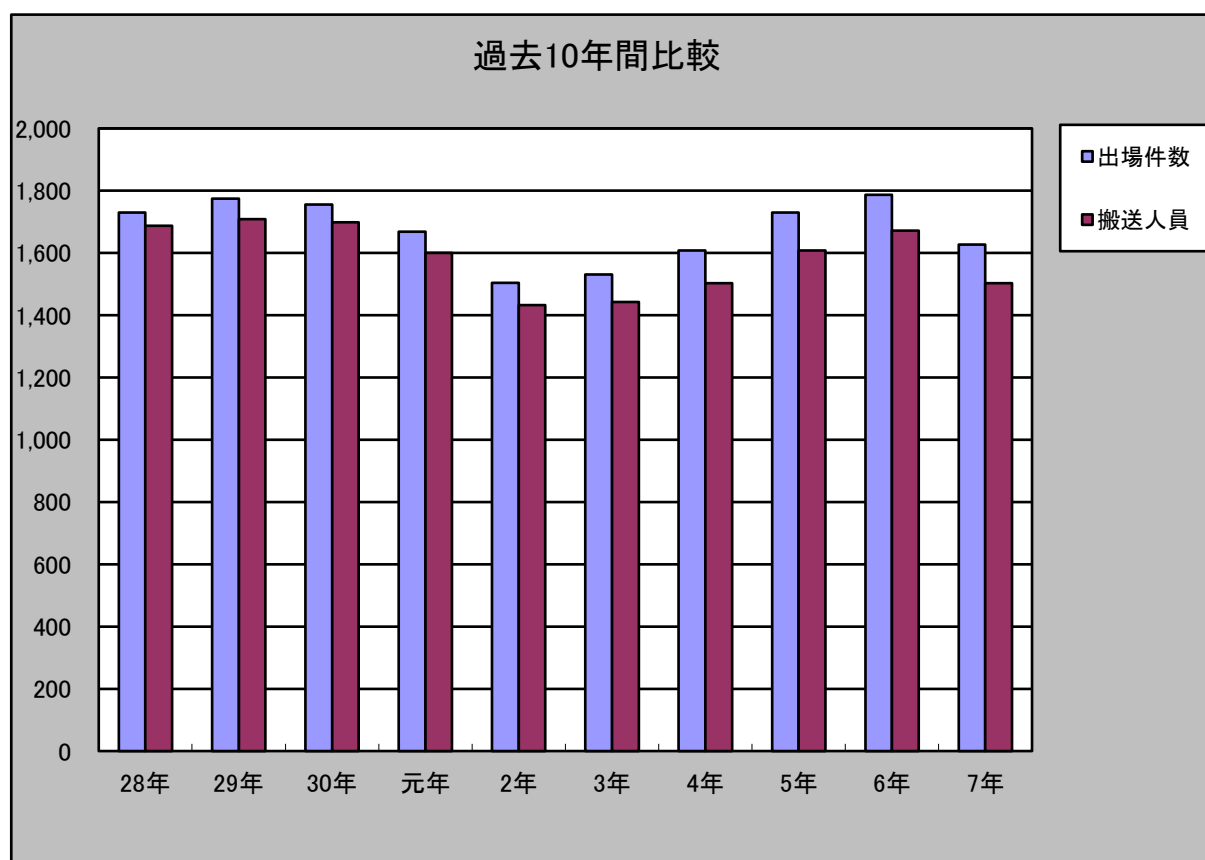
事故種別／理由	緊急性なし	傷病者なし	拒否	酩酊	死亡	現場処置	誤報・いたずら	その他	計	前年
火災									0	0
自然災害									0	0
水難		1							1	1
交通事故		1	4					6	11	10
労働災害									0	0
運動競技									0	0
一般負傷			6					6	12	18
加害			1						1	1
自損行為					2				2	5
急病		2	21		25		1	49	98	81
その他 (転院搬送含む)		1						1	2	2
合計	0	5	32	0	27	0	1	62	127	118

■ 現場到着及び収容所要時間状況

所要時間／事故種別		急 病	交 通	一 般 負 傷	そ の 他	合 計
現 場 到 着 所 要 時 間	3分未満	23		6	4	33
	3分以上5分未満	27		8	11	46
	5分以上10分未満	570	61	185	161	977
	10分以上20分未満	380	48	102	15	545
	20分以上	17	3	3	3	26
合 計		1,017	112	304	194	1,627
現場到着最短所要時間		0分	5分	0分	1分	
現場到着最長所要時間		41分	37分	22分	23分	
現場到着平均所要時間		9.3分	10.4分	9.0分	6.9分	
所要時間／事故種別		急 病	交 通	一般負傷	その他	合 計
医 療 機 関 等 へ の 収 容 所 要 時 間	10分未満					0
	(内管外)					0
	10分以上20分未満	3		1		4
	(内管外)					0
	20分以上30分未満	56	3	18	46	123
	(内管外)	21	2	5	42	70
	30分以上60分未満	662	57	202	134	1,055
	(内管外)	539	45	159	126	869
	60分以上120分未満	184	40	69	8	301
	(内管外)	166	33	55	6	260
	120分以上	16	2	2		20
	(内管外)	16	2	1		19
	合 計	921	102	292	188	1,503
(内管外)		742	82	220	174	1,218
収 容 最 短 所 要 時 間		16分	22分	15分	21分	
収 容 最 長 所 要 時 間		3時間23分	2時間34分	2時間15分	1時間24分	
収 容 平 均 所 要 時 間		51.5分	61.2分	49.5分	37.9分	

■ 過去10年間の町別救急推移

町別		年別	28年	29年	30年	元年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	過去10年間の平均
琴平町	出場件数		684	693	700	658	599	511	635	646	667	623	641.6
	搬送人員		673	677	658	630	559	475	585	590	613	560	602.0
まんのう町	出場件数		1,043	1,081	1,055	1,010	905	1,017	971	1,084	1,118	1,001	1,028.5
	搬送人員		1,010	1,031	1,040	970	873	966	916	1,018	1,058	941	982.3
管外	出場件数		3	1				3	2		2	3	1.4
	搬送人員		4	1				1	2		1	2	1.1
計	出場件数		1,730	1,775	1,755	1,668	1,504	1,531	1,608	1,730	1,787	1,627	1,671.5
	搬送人員		1,687	1,709	1,698	1,600	1,432	1,442	1,503	1,608	1,672	1,503	1,585.4



■ 過去10年間の事故種別救急推移

年別 事故種別		28年	29年	30年	元年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	過去10年 間の平均
火災	出場件数		2		3	1	1	4	1		1	1.3
	搬送人員		1		2	1		2	1		1	0.8
自然災害	出場件数			1								0.1
	搬送人員			1								0.1
水難	出場件数		2				1			1	1	0.5
	搬送人員		1				1					0.2
交通事故	出場件数	135	140	136	107	99	128	112	121	97	112	118.7
	搬送人員	139	147	144	108	103	124	105	109	89	102	117.0
労働災害	出場件数	19	20	22	20	13	11	18	11	18	13	16.5
	搬送人員	19	19	22	19	13	11	15	11	18	13	16.0
運動競技	出場件数	8	14	10	12	5	9	5	5	13	2	8.3
	搬送人員	8	14	9	12	5	9	5	4	13	2	8.1
一般負傷	出場件数	278	317	309	288	288	239	262	283	328	304	289.6
	搬送人員	273	307	301	273	278	231	248	268	310	292	278.1
加害	出場件数	3	5	2	6	2	4	1	3	3	3	3.2
	搬送人員	3	4	2	6	2	3	1	1	2	2	2.6
自損行為	出場件数	9	10	13	12	10	10	6	10	12	3	9.5
	搬送人員	6	7	5	7	6	6	3	7	7	1	5.5
急病	出場件数	1,043	1,067	1,012	1,008	873	919	1,035	1,100	1,131	1,017	1,020.5
	搬送人員	1,007	1,015	965	962	813	848	960	1,013	1,051	921	955.5
その他 (転院含む)	出場件数	235	198	250	212	213	209	165	196	184	171	203.3
	搬送人員	232	194	249	211	211	209	164	194	182	169	201.5
計	出場件数	1,730	1,775	1,755	1,668	1,504	1,531	1,608	1,730	1,787	1,627	1,671.5
	搬送人員	1,687	1,709	1,698	1,600	1,432	1,442	1,503	1,608	1,672	1,503	1,585.4

■ 応急処置件数

事故種別 処置内容別	急 病	交 通	一般負傷	その他	合 計
応 急 処 置 人 員	1,000	108	300	191	1,599
止 血	8	11	25	4	48
固 定	50	91	156	31	328
人 工 呼 吸	16	1			17
胸 骨 圧 迫	13		1		14
胸 骨 圧 迫（自 動）	13	1	1		15
心 肺 蘇 生	17	1	1	1	20
心 肺 蘇 生（自 動）	10			1	11
血 糖 測 定	30	1	1		32
エ ピ ペ ン 投 与					0
ブ ド ウ 糖 投 与	3				3
酸 素 吸 入	203	50	15	57	325
気 道 確 保（用 手 等）	13	1	1		15
気 道 確 保 1 （経 鼻 エ ア ウ ェ イ）	2				2
気 道 確 保 2 （喉 頭 鏡・鉗 子 等）					0
気 道 確 保 3 （ラ リ ン ゲ ア ル マ ス ク 等）	9		1		10
気 管 挿 管	1				1
β 刺 激 薬 投 与					0
保 温	352	38	91	83	564
被 覆	9	21	62	7	99
在 宅 療 法 継 続	4		1	3	8
除 細 動	3				3
静脈路確保(CPA前)	9		1	1	11
静脈路確保(CPA後)	18		1		19
ア ド レ ナ リ ン 投 与	5			1	6
血 圧 測 定	944	105	296	188	1,533
聴 診 器 に よ る 聴 取	811	96	206	149	1,262
血 中 酸 素 飽 和 度 測 定	956	105	299	189	1,549
心 電 図	958	101	286	190	1,535
そ の 他 の 処 置	256	3	11	18	288

■ 応急手当等の普及啓発活動

救急要請の増加の中、心停止、呼吸停止、大量出血など、一刻一秒を争う生命の重大事に、現場に居合わせた人（バイスタンダー）による応急手当が実施されれば救命効果が一層向上することから、平成8年3月に「応急手当普及啓発活動の推進に関する実施要綱」を策定し、一人でも多くの住民に応急手当等の知識を普及するため、救命講習を実施するなど、普及啓発活動を積極的に推進している。

○ 応急手当実施要綱に基づく講習等の状況

応急手当実施要綱に基づく講習							
普通救命講習						上級救命講習	
Ⅰ		Ⅱ		Ⅲ			
受講人員	回数	受講人員	回数	受講人員	回数	受講人員	回数
185	14			42	3		

基礎的な講習		普及啓発用資機材の状況		
		蘇生訓練用人形数		外傷模型セット
受講人員	回数	成人用	乳児用	
479	21	5	6	

○ 応急手当普及啓発活動実施状況（過去5年間）

近年、AEDが公共施設に普及してきたことに伴い講習依頼が増加してきており、一般住民の救命講習の動機づけとなっている。

また、消防団員への救命講習を積極的に実施している。

講習別 年別		普通救命講習			上級救命講習	基礎的な講習	計
		I	II	III			
3 年	講習回数	1				5	6
	受講人員	4				178	182
4 年	講習回数	1					1
	受講人員	4					4
5 年	講習回数	15		4		19	38
	受講人員	190		54		345	589
6 年	講習回数	17		3		26	46
	受講人員	221		34		553	808
7 年	講習回数	14		3		21	38
	受講人員	185		42		479	706

■ 救助統計

救助概要

○ 救助出場件数及び救助人員

令和7年中の出場件数は、25件（前年23件）で前年より2件増加し、救助人員は27人（前年21人）で、6名の増加である。

町別出場件数をみると、琴平町が8件（32%）、まんのう町が17件（68%）、管外0件（0%）となっている。

月平均出場件数は 2.1件である。

○ 事故種別件数

事故種別出場件数及び救助人員は、いずれも第1位が交通で（15件、19人）、第2位がその他（9件、8人）の順となっている。

○ 町別救助件数

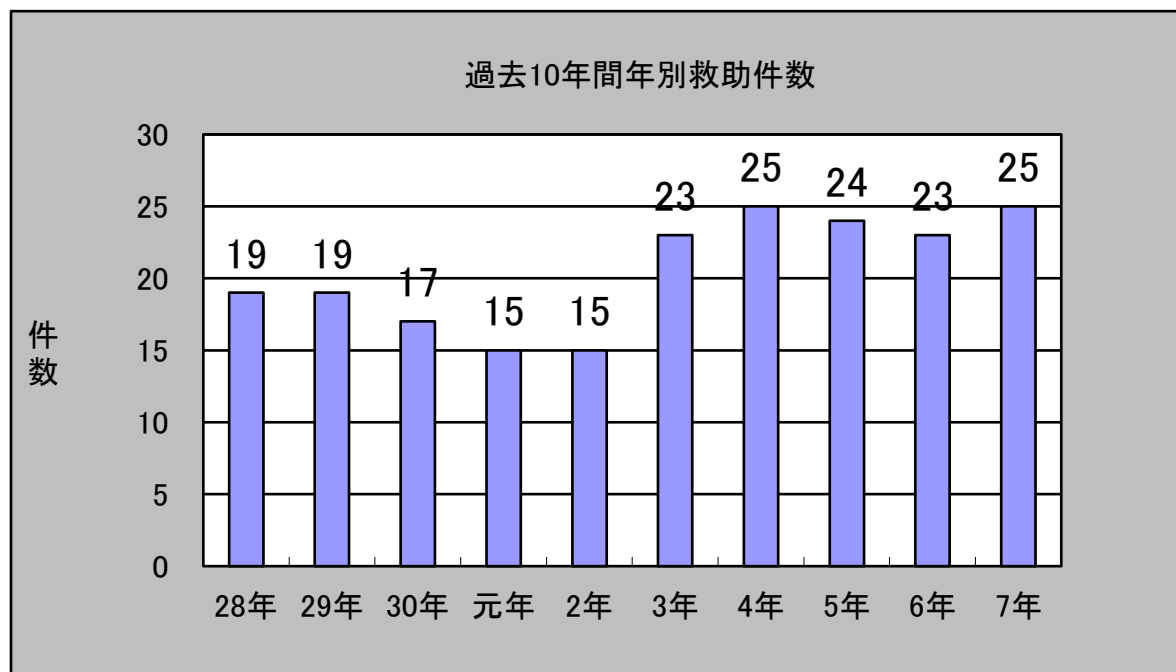
町別／月別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	前年
琴平町	出場件数		1			1			2	3	1			8	8
	救助人員		1			1			4	3	1			10	8
まんのう町	出場件数		4	2			2	2	1	1	3	1	1	17	15
	救助人員		4	4			2	1			3	1	2	17	13
管外	出場件数													0	0
	救助人員													0	0
計	出場件数	0	5	2	0	1	2	2	3	4	4	1	1	25	23
	救助人員	0	5	4	0	1	2	1	4	3	4	1	2	27	21

■ 事故種別救助件数

種別／月別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	前年
火災	出場件数													0	0
	救助人員													0	0
交通事故	出場件数		2	2		1	1	1	2	3	2		1	15	12
	救助人員		3	4		1	1		3	3	2		2	19	14
水難	出場件数									1				1	1
	救助人員													0	0
自然災害	出場件数													0	0
	救助人員													0	0
機械による故	出場件数													0	2
	救助人員													0	2
建築物等の故	出場件数													0	0
	救助人員													0	0
ガス及び欠	出場件数													0	0
	救助人員													0	0
破裂事故	出場件数													0	0
	救助人員													0	0
その他	出場件数		3				1	1	1		2	1		9	8
	救助人員		2				1	1	1		2	1		8	5
計	出場件数	0	5	2	0	1	2	2	3	4	4	1	1	25	23
	救助人員	0	5	4	0	1	2	1	4	3	4	1	2	27	21

■ 過去10年間の救助件数推移

年別 町別	28年	29年	30年	元年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	過去10年 間の平均
琴 平 町	4	5	6	2	2	3	5	4	8	8	4.7
ま ん の う 町	15	14	11	13	13	20	20	20	15	17	15.8
管 外											0.0
計	19	19	17	15	15	23	25	24	23	25	20.5
火 災		1		1		1	1				0.4
交 通 事 故	9	9	13	7	9	13	14	17	12	15	11.8
水 難 事 故						1			1	1	0.3
自 然 災 害											0.0
機械による事故	2	2	1	1					2		0.8
建物等の事故											0.0
ガス及び酸欠											0.0
破 裂 事 故											0.0
そ の 他	8	7	3	6	6	8	10	7	8	9	7.2
計	19	19	17	15	15	23	25	24	23	25	20.5

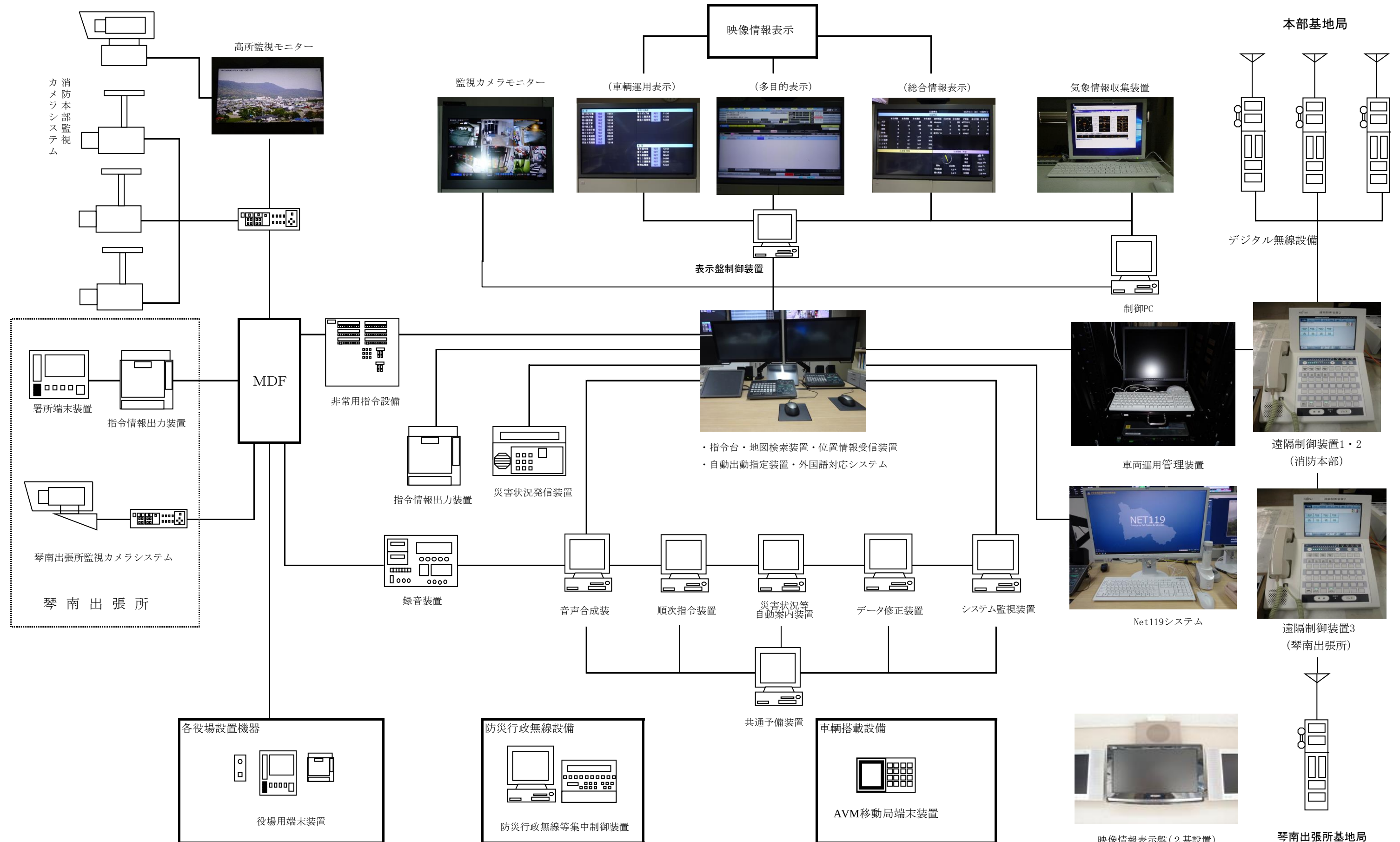


通信指令編



通信指令課

消防通信系統図 (令和8年4月1日現在)



○ デジタル無線関係

基地局・固定局 (令和8年4月1日現在)

呼 出 名 称	局種別	周 波 数						出力	メーカー	購 入 年月日	常 置 場 所	備 考
		1CH	2CH	3CH	4CH	5CH	6CH					
南 部 消 防	基地局	○	○	○	○	○	○	20W	ゼネラル	H26.3	通 信 指 令 室	※1
南部消防琴南		○	○	○	○	○	○	20W	ゼネラル	H26.3	琴南出張所基地局	※2

※1 遠隔制御装置2基設置

※2 遠隔制御装置1基設置

移動局 (消防本部) (令和8年4月1日現在)

呼 出 名 称	局種別	周 波 数						出力	メーカー	購 入 年月日	常 置 場 所	備 考
		1CH	2CH	3CH	4CH	5CH	6CH					
南部消防 5	陸上移動局	○	○	○	○	○	○	10W	ゼネラル	H26.3	指 令 車	※3
南部消防 7	陸上移動局	○	○	○	○	○	○	10W	ゼネラル	H26.3	人員搬送車	車載
南部消防 8	陸上移動局	○	○	○	○	○	○	10W	ゼネラル	H26.3	広 報 車	車載
南部消防 11	陸上移動局	○	○	○	○	○	○	10W	ゼネラル	H26.3	現場指揮車	車載
南部消防 12	陸上移動局	○	○	○	○	○	○	10W	ゼネラル	H26.3	事務連絡車	車載
南部消防 30	陸上移動局	○	○	○	○	○	○	10W	ゼネラル	H26.3	現場指揮車	可搬型
南部消防 105	陸上移動局	○	○	○	○	○	○	5W	ゼネラル	H26.3	総 務 課	携帯
南部消防 107	陸上移動局	○	○	○	○	○	○	5W	ゼネラル	H26.3	警 防 課	携帯
南部消防 108	陸上移動局	○	○	○	○	○	○	5W	ゼネラル	H26.3	予 防 課	携帯
南部消防 111	陸上移動局	○	○	○	○	○	○	5W	ゼネラル	R6.9	警 防 課	携帯
南部消防 201	陸上移動局	○	○	○	○	○	○	5W	ゼネラル	H26.3	通信指令室	携帯
南部消防 202	陸上移動局	○	○	○	○	○	○	5W	ゼネラル	H26.3	通信指令室	携帯
南部消防 203	陸上移動局	○	○	○	○	○	○	5W	ゼネラル	H26.3	通信指令室	携帯

※3 廃車予定に伴い取り外して保管

(消防署) (令和8年4月1日現在)

呼 出 名 称	局種別	周 波 数						出力	メーカー	購 入 年月日	常 置 場 所	備 考
		1CH	2CH	3CH	4CH	5CH	6CH					
南部消防 1	陸上移動局	○	○	○	○	○	○	10W	ゼネラル	H26.3	署 1 号 車	車載
南部消防 2	陸上移動局	○	○	○	○	○	○	10W	ゼネラル	H26.3	署 2 号 車	車載
南部消防 4	陸上移動局	○	○	○	○	○	○	10W	ゼネラル	H26.3	署 4 号 車	車載
南部消防 6	陸上移動局	○	○	○	○	○	○	10W	ゼネラル	H26.3	署 6 号 車	車載
南部消防 9	陸上移動局	○	○	○	○	○	○	10W	ゼネラル	H26.3	署 9 号 車	車載
南部消防 10	陸上移動局	○	○	○	○	○	○	10W	ゼネラル	H26.3	署 10 号 車	車載
南部消防 20	陸上移動局	○	○	○	○	○	○	10W	ゼネラル	H26.3	署 20 号 車	車載
南部消防 21	陸上移動局	○	○	○	○	○	○	10W	ゼネラル	H26.3	署 21 号 車	車載
南部救急 1	陸上移動局	○	○	○	○	○	○	10W	ゼネラル	H26.3	救急1号車	車載
南部救急 2	陸上移動局	○	○	○	○	○	○	10W	ゼネラル	H26.3	救急2号車	車載
南部救急 3	陸上移動局	○	○	○	○	○	○	10W	ゼネラル	H26.3	救急3号車	車載

(消防署)

(令和8年4月1日現在)

呼 出 名 称	局種別	周 波 数						出力	メーカー	購 入 年月日	常 置 場 所	備 考
		1CH	2CH	3CH	4CH	5CH	6CH					
南部消防 101	陸上移動局	○	○	○	○	○	○	5W	ゼネラル	R7.10	署 1 号 車	携帯
南部消防 102	陸上移動局	○	○	○	○	○	○	5W	ゼネラル	H26.3	署 2 号 車	携帯
南部消防 120	陸上移動局	○	○	○	○	○	○	5W	ゼネラル	H26.3	署 20 号 車	携帯
南部消防 104	陸上移動局	○	○	○	○	○	○	5W	ゼネラル	H26.3	署 4 号 車	携帯
南部消防 106	陸上移動局	○	○	○	○	○	○	5W	ゼネラル	H26.3	署 6 号 車	携帯
南部消防 109	陸上移動局	○	○	○	○	○	○	5W	ゼネラル	H26.3	署 9 号 車	携帯
南部消防 110	陸上移動局	○	○	○	○	○	○	5W	ゼネラル	H26.3	署 10 号 車	携帯
南部消防 121	陸上移動局	○	○	○	○	○	○	5W	ゼネラル	H26.3	署 21 号 車	携帯
南部救急 101	陸上移動局	○	○	○	○	○	○	5W	ゼネラル	R7.10	救急1号車	携帯
南部救急 102	陸上移動局	○	○	○	○	○	○	5W	ゼネラル	R6.3	救急2号車	携帯
南部救急 103	陸上移動局	○	○	○	○	○	○	5W	ゼネラル	R6.9	救急3号車	携帯

(琴南出張所)

(令和8年4月1日現在)

呼 出 名 称	局種別	周 波 数						出力	メーカー	購 入 年月日	常 置 場 所	備 考
		1CH	2CH	3CH	4CH	5CH	6CH					
南部消防 3	陸上移動局	○	○	○	○	○	○	10W	ゼネラル	H26.3	署 3 号 車	車載
南部消防 13	陸上移動局	○	○	○	○	○	○	10W	ゼネラル	H26.3	署 13 号 車	車載
南部救急 4	陸上移動局	○	○	○	○	○	○	10W	ゼネラル	H26.3	救急4号車	車載
南部消防 103	陸上移動局	○	○	○	○	○	○	5W	ゼネラル	H26.3	署 3 号 車	携帯
南部消防 113	陸上移動局	○	○	○	○	○	○	5W	ゼネラル	H26.3	署 13 号 車	携帯
南部救急 104	陸上移動局	○	○	○	○	○	○	5W	ゼネラル	R6.3	救急4号車	携帯

(注) デジタル無線関係周波数欄の1・2・3・4・5・6CHは次のとおり

- ・ 1CH 消防波
- ・ 2CH 救急波
- ・ 3CH 主運用波
- ・ 4CH 統制波1
- ・ 5CH 統制波2
- ・ 6CH 統制波3

○ 署活無線関係

(消防本部)

(令和8年4月1日現在)

呼 出 名 称	局種別	チャンネル数	出力	メーカー	購 入 年月日	常 置 場 所	備 考
南部消防 401	陸上移動局	2CH	1W	ゼネラル	H26.3	予 防 課	携帯
南部消防 414	陸上移動局	2CH	1W	ゼネラル	H26.3	予 防 課	携帯
南部消防 415	陸上移動局	2CH	1W	ゼネラル	H26.3	警 防 課	携帯
南部消防 417	陸上移動局	2CH	1W	ゼネラル	H26.3	予 防 課	携帯
南部消防 420	陸上移動局	2CH	1W	ゼネラル	H26.3	通信指令室	携帯
南部消防 426	陸上移動局	17CH	1W	ゼネラル	R2.6	警 防 課	携帯
南部消防 427	陸上移動局	2CH	1W	ゼネラル	R6.3	警 防 課	携帯

(消防署)

(令和8年4月1日現在)

呼 出 名 称	局種別	チャンネル数	出力	メーカー	購 入 年月日	常 置 場 所	備 考
南部消防 402	陸上移動局	2CH	1W	ゼネラル	H26.3	署 4 号 車	携帯
南部消防 403	陸上移動局	2CH	1W	ゼネラル	H26.3	署 2 号 車	携帯
南部消防 404	陸上移動局	2CH	1W	ゼネラル	H26.3	署 1 号 車	携帯
南部消防 405	陸上移動局	2CH	1W	ゼネラル	H26.3	署 2 号 車	携帯
南部消防 406	陸上移動局	2CH	1W	ゼネラル	H26.3	署 2 号 車	携帯
南部消防 407	陸上移動局	2CH	1W	ゼネラル	H26.3	署 2 号 車	携帯
南部消防 408	陸上移動局	2CH	1W	ゼネラル	H26.3	署 21 号 車	携帯
南部消防 409	陸上移動局	2CH	1W	ゼネラル	H26.3	署 4 号 車	携帯
南部消防 410	陸上移動局	2CH	1W	ゼネラル	H26.3	署 1 号 車	携帯
南部消防 413	陸上移動局	2CH	1W	ゼネラル	H26.3	署 1 号 車	携帯
南部消防 415	陸上移動局	2CH	1W	ゼネラル	H26.3	署 11 号 車	携帯
南部消防 416	陸上移動局	2CH	1W	ゼネラル	H26.3	署 2 号 車	携帯
南部消防 419	陸上移動局	2CH	1W	ゼネラル	H26.3	署 1 号 車	携帯
南部消防 421	陸上移動局	17CH	1W	ゼネラル	R2.6	署 9 号 車	携帯
南部消防 422	陸上移動局	17CH	1W	ゼネラル	R2.6	署 9 号 車	携帯
南部消防 423	陸上移動局	17CH	1W	ゼネラル	R2.6	署 9 号 車	携帯
南部消防 424	陸上移動局	17CH	1W	ゼネラル	R2.6	署 9 号 車	携帯
南部消防 425	陸上移動局	17CH	1W	ゼネラル	R2.6	署 9 号 車	携帯
南部消防 428	陸上移動局	2CH	1W	ゼネラル	R6.3	署 6 号 車	携帯
南部救急 901	陸上移動局	2CH	1W	ゼネラル	R4.10	救急第1出場車	携帯
南部救急 902	陸上移動局	2CH	1W	ゼネラル	R4.10	救急第1出場車	携帯
南部救急 903	陸上移動局	2CH	1W	ゼネラル	R4.10	救急第1出場車	携帯
南部救急 907	陸上移動局	2CH	1W	ゼネラル	R6.9	救急第2出場車	携帯
南部救急 908	陸上移動局	2CH	1W	ゼネラル	R6.9	救急第2出場車	携帯
南部救急 909	陸上移動局	2CH	1W	ゼネラル	R6.9	救急第2出場車	携帯

(琴南出張所)

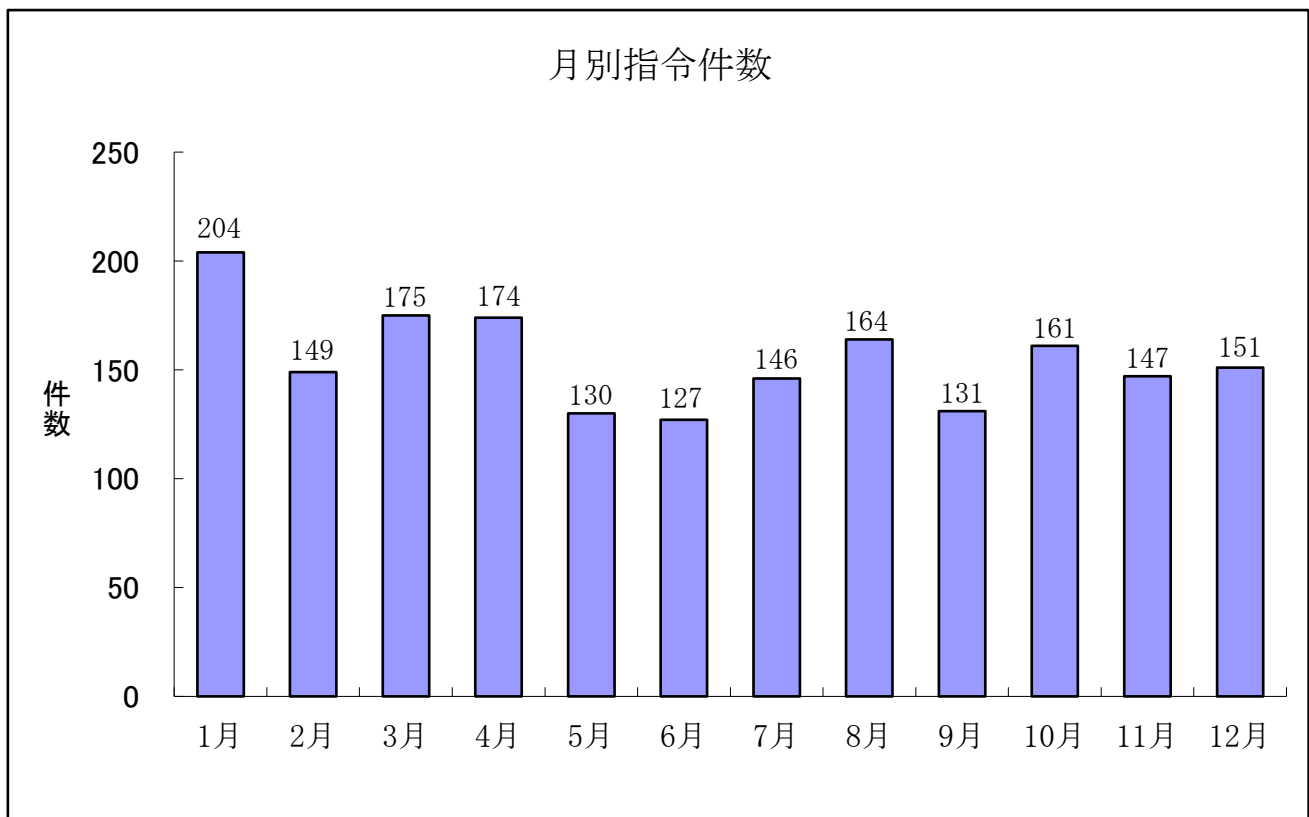
(令和8年4月1日現在)

呼 出 名 称	局種別	チャンネル数	出力	メーカー	購 入 年月日	常 置 場 所	備 考
南部消防 411	陸上移動局	2CH	1W	ゼネラル	H26.3	署 3 号 車	携帯
南部消防 412	陸上移動局	2CH	1W	ゼネラル	H26.3	署 13 号 車	携帯
南部消防 418	陸上移動局	2CH	1W	ゼネラル	H26.3	署 3 号 車	携帯
南部救急 904	陸上移動局	2CH	1W	ゼネラル	R6.3	救急第1出場車	携帯
南部救急 905	陸上移動局	2CH	1W	ゼネラル	R6.3	救急第1出場車	携帯
南部救急 906	陸上移動局	2CH	1W	ゼネラル	R6.3	救急第1出場車	携帯

(注) 署活無線の交信は署活無線内に限る。

■ 月別指令別件数

月別 種類別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合 計	前 年
火 災	3	2	5	4	2	4	5	2	2		3	1	33	31
救 急	178	126	148	150	118	103	123	137	110	141	132	136	1,602	1,780
救 助		5	2			2	2	3	4	4	1	1	24	23
偵 察	2	1										1	4	2
警 戒													0	0
水 害													0	0
救急支援	18	11	16	13	9	14	12	14	9	13	10	11	150	168
そ の 他	3	4	4	7	1	4	4	8	6	3	1	1	46	34
合 計	204	149	175	174	130	127	146	164	131	161	147	151	1,859	2,038



■ 119回線受付状況

区分／月別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	前年
火災等災害関係	火災	5	2	6	3	1	1	6	1	1		2	1	29	73
	自火報					1								1	0
	救助		5	1			2		2	3	2	1	1	17	19
	偵察	3	1										1	5	0
	警戒													0	0
	水害													0	0
	問合せ	2							3	1	1	1	1	9	9
	油漏れ			1		1		1		1				4	0
	小計	10	8	8	3	3	3	7	6	6	3	4	4	65	101
救急関係	救急	136	102	115	120	92	77	87	113	79	106	113	112	1,252	1,530
	話中辞退	3	4	1	1	1	1	2		1	1	1	2	18	14
	病院照会	2	1	1	6	2	7	3	1	3	3	2	4	35	42
	問合せ	8	7	4	9	13	8	17	14	6	9	9	18	122	90
	小計	149	114	121	136	108	93	109	128	89	119	125	136	1,427	1,676
その他	定期試験	9	14	10	4	2	11	6	10	12	3	3	8	92	114
	通報訓練	5	8	17	13	6	8	6	2	15	17	20	16	133	154
	いたづら								1	2				3	1
	応答なし	3		4	2		2	2	3		1	1	2	20	23
	まちがい	6	2	7	7	1	7	4	2	10	9	2	3	60	63
	その他		1			5			2	8	3	1		20	37
	小計	23	25	38	26	14	28	18	20	47	33	27	29	328	392
合計		182	147	167	165	125	124	134	154	142	155	156	169	1,820	2,169

■ 119回線以外での救急入電状況

区分／月別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	前年
救急関係	加入電話	34	29	26	33	21	25	27	22	32	25	18	22	314	353
	警察	6		2	4	1		2		1	3	1		20	32
	かけ込み	8	4	4	3	5	2	3	3	1	6	2	5	46	64
	無線			2	1		1	2	4	1	2	3	2	18	4
	小計	48	33	34	41	27	28	34	29	35	36	24	29	398	453

■ 月別気象状況

気象別		月別												月平均 最高最低等
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
天候 日数	晴れ	6	6	4	16	11	7	22	11	10	14	6	10	10.3
	曇り	22	22	21	11	17	20	8	20	20	13	23	20	18.1
	雨	3	1	6	3	3	3	1			4	1	1	2.2
	その他													0.0
気温 ℃	最高	14.2	13.0	25.1	26.4	29.2	33.7	36.7	36.9	35.3	28.8	20.6	19.2	26.6
	最低	-1.8	-3	-0.9	1.5	8.3	14.8	21.4	22.8	16.4	6.9	3.4	-1.9	7.3
	平均	4.9	3.7	9.7	14.4	18.3	23.9	28.1	28.6	26.1	19.8	12.4	8.0	16.5
湿度 %	最小	25.8	22.4	14.1	13.8	20.8	26.9	41.3	37.7	50.5	32.7	99.1	34.9	35.0
	平均	66.4	65.7	68.3	67.4	73.7	79.2	78.5	79.9	83.1	82.0	75.5	72.6	74.4
風速 m	最大	21.6	23.7	23.4	18.4	10.0	16.2	14.2	19.4	15.3	14.8	10.7	12.7	16.7
	平均	3.5	4.0	3.3	2.8	2.6	2.3	2.4	2.3	2.3	2.2	2.6	3.2	2.8
降水量	降雨日数	5	7	13	10	9	13	7	7	11	10	8	6	8.8
	降雨量 mm	23.5	21.5	68.5	45.0	83.0	106.0	82.5	119.0	186.5	84.5	19.5	26.5	72.2
	最大日雨量	11.0	12.5	16.0	8.0	19.0	33.0	22.0	43.0	91.0	47.5	12.5	14.0	27.5

測定地 消防本部

備考

・天候日数は、午前9時現在で測定したもの。

・最大風速は、毎月の最大瞬間風速を表したもの。

・気温・湿度は、毎月の極値を表したもの。

・降雨日数は、日雨量2.0mm以上の日数を表したもの。

・湿度は、相対湿度を表したもの。

・降雨量は、毎月の合計を表したもの。

令和7年中の主な記録

気温

年平均気温は、16.5℃
最高気温は、8月2日の36.9℃
最低気温は、2月25日の-3℃

湿度

年平均湿度は、74.4%
最小湿度は、13.8%

風速

年平均風速は、2.8m/s
最大風速は、2月7日の23.7m/s

雨量

年間降水量は、866mmで年間を通じて最も降水量の多い月は9月の186.5mm
最大日雨量では、9月5日の91.0mm

※

・気象観測装置PC不具合の為、令和7年5月12日17時00分～令和7年5月18日24時までのデータは欠測。

・年平均値にあつては1月から12月の平均を表示する。小数点第2位以下四捨五入。

■ 気象注意報・警報・情報等状況

区分／月別		1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	合 計	前 年
注 意 報	強 風	9	9	11	5	6	2			3		3	5	53	33
	波 浪													0	0
	大 雨						1	5	1	3				10	18
	洪 水							3	2	4				9	10
	濃 霧			5		1							3	9	14
	乾 燥	13	17	8	10	7	4		3				2	64	35
	霜			8	3									11	13
	風 雪	1	3											4	0
	雷	1	3	6	7	10	13	15	18	24	7	3	3	110	127
	異常低温													0	0
	大 雪	2	5	2										9	11
	着 雪													0	0
小 計		26	37	40	25	24	20	23	24	34	7	6	13	279	261
警 報	暴 風 雨													0	0
	大 雨									2				2	5
	波 浪													0	0
	洪 水								1	2				3	3
	暴 風													0	0
	暴 風 雪													0	0
小 計		0	0	0	0	0	0	0	1	4	0	0	0	5	8
情 報	火災気象	21	22	16	12	10	6		3	3		2	8	103	61
	大 雨						1	1						2	23
	小 雨													0	0
	低 気 圧													0	0
	大 雪	4	3	4										11	11
	台 風									3	1			4	14
	地 震						1							1	1
	梅 雨													0	0
	強 風				2									2	17
	雪													0	7
	大雨と強風													0	5
	雷				2				1	2	2			7	22
	土砂災害													0	6
	そ の 他			2				1		1				4	14
小 計		25	25	22	16	10	8	2	4	9	3	2	8	134	181
合 計		51	62	62	41	34	28	25	29	47	10	8	21	418	450

消防団等資料

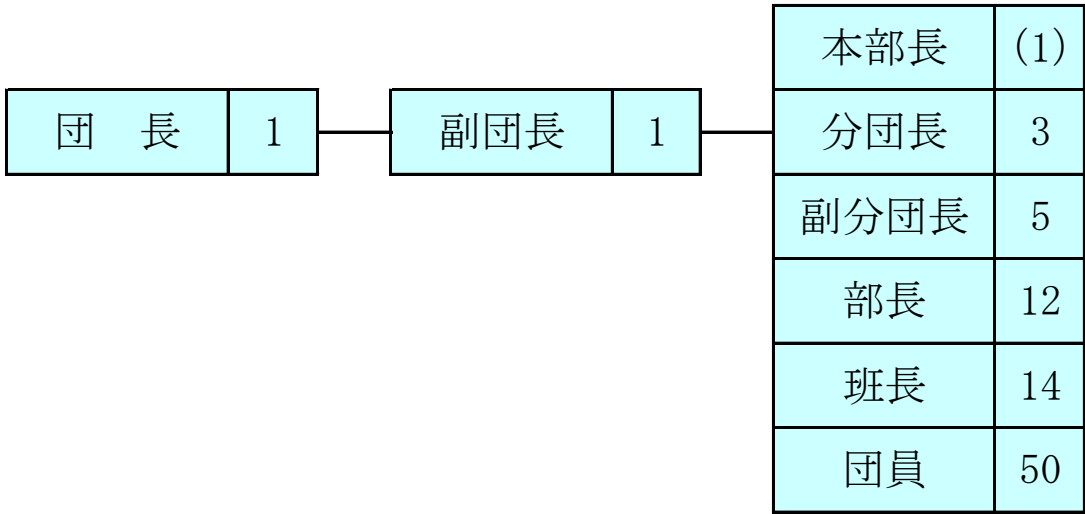


新入団員訓練

■ 消防団組織図（令和8年4月1日現在）

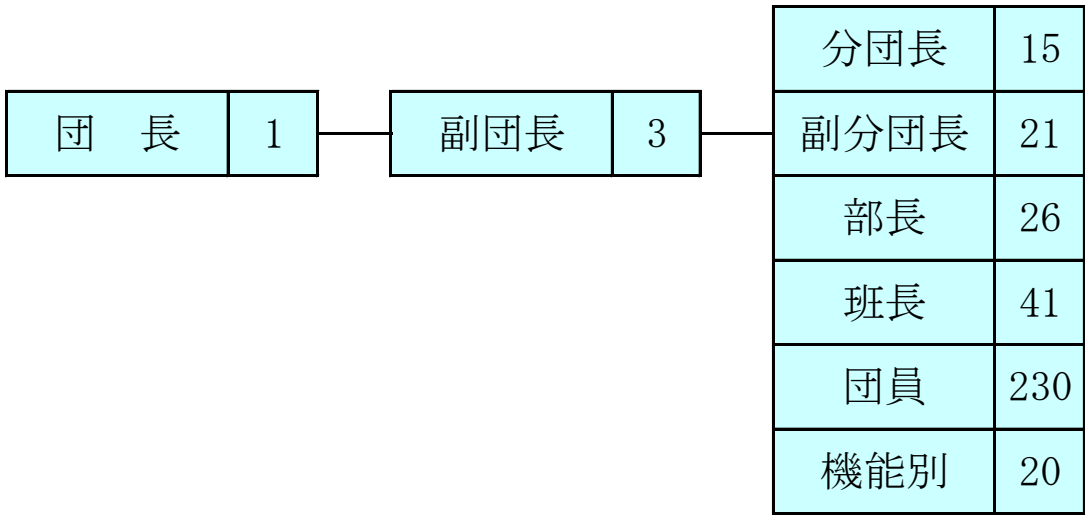
○琴平町消防団

団長以下86名



○まんのう町消防団

団長以下357名



■ 消防団員及び報酬等の状況

(単位：円)

町別 階級別		琴 平 町		まんのう町		合 計
		団員数	報酬額	団員数	報酬額	団員数
実 員 計		86		357		443
団 長		1	82,500	1	100,000	2
副 団 長		1	69,000	3	82,000	4
分 団 長		3	50,500	15	60,000	18
副 分 団 長		5	45,500	21	46,000	26
部 長		12	40,000	26	37,500	38
班 長		14	39,000	41	37,500	55
団 員		50	38,000	230	36,500	280
機 能 別		0	0	20	0	20
条 例 定 数		100		407		507
水防団員兼務者		86		357		443
出 動 手 当	水 火 災	1 回	8,000	4時間未満	4,000	備考 まんのう町の水火 災出動手当は1回の 出動時間が8時間以 上となる場合はそ の超える時間4時間 未満毎に4,000円を 加算
				4時間以上 8時間未満	8,000	
	警 戒	1 回	3,000	1 回	1,500	
	訓 練	1 回	3,000	1 回	1,500	

■ 在職年数別消防団員数

(令8年4月1日現在)

町別 年数別		琴 平 町	まんのう町	合 計
計		86	357	443
5年未満		19	45	64
5年以上10年未満		19	55	74
10年以上15年未満		24	46	70
15年以上20年未満		6	63	69
20年以上25年未満		3	80	83
25年以上30年未満		11	27	38
30年以上		4	41	45

■ 消防団現有消防車両等

(令和8年4月1日現在)

町別 種別	琴平町	まんのう町	計
消防ポンプ自動車	4	1	5
小型ポンプ積載車	4	26	30
多機能車	0	1	1
小型ポンプ（B級）	3	16	19
小型ポンプ（C級）	1	10	11
オフロードバイク	1	0	1

■ 消防団出動状況

町別 種別	琴平町		まんのう町		計	
	出動 回数	出動 延人員	出動 回数	出動 延人員	出動 回数	出動 延人員
火災	2	61	15	259	17	320
風水害					0	0
演習訓練	16	277	12	582	28	859
広報指導			25	507	25	507
警防調査					0	0
火災調査					0	0
特別警戒	37	277	5	405	42	682
捜索					0	0
予防査察					0	0
誤報等			1	16	1	16
その他	48	369	32	506	80	875
計	103	984	90	2,275	193	3,259

消防年報(令和7年版)

令和8年8月 発行

編集・発行 仲多度南部消防組合
消 防 本 部
総 務 課 企 画 係

〒766-0003 香川県仲多度郡琴平町五条 313 番地

TEL 0877 (73) 4211

FAX 0877 (73) 4770

ホームページアドレス <http://www.nakatado-fd.jp>

e-mail	nfd@nakatado-fd.jp	TEL
総務課	nfd-soumu@nakatado-fd.jp	0877 (73) 3095
予防課	nfd-yobo@nakatado-fd.jp	0877 (73) 4974
警防課	nfd-keibou@nakatado-fd.jp	0877 (73) 4973
通信指令課	nfd-tusin@nakatado-fd.jp	0877 (73) 4972
救急隊	nfd-kyukyu@nakatado-fd.jp	0877 (73) 4212
琴南出張所	nfd-kotonami@nakatado-fd.jp	0877 (85) 0119

